第4107号

本文

官報

第四千百七號

NO.4107

大正十五年五月五日　水曜日

内閣印刷局

勅令

朕税務監督局官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

攝政名

大正十五年五月四日

内閣總理大臣　若槻禮次郎
大藏大臣　濱口雄幸

勅令第九十四號

税務監督局官制中左ノ通改正ス

第二條中「屬　專任三百七十三人」ヲ「屬　專任三百八十三人」ニ、「技手　專任七十三人」ヲ「技手　專任七十六人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕税務署官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

攝政名

大正十五年五月四日

内閣總理大臣　若槻禮次郎
大藏大臣　濱口雄幸

勅令第九十五號

税務署官制中左ノ通改正ス

第二條中「屬　專任五千五百六十七人」ヲ「屬　專任五千八百七十六人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻税法施行規則中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

攝政名

大正十五年五月四日

内閣總理大臣　若槻禮次郎
大藏大臣　濱口雄幸

勅令第九十六號

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻税法施行規則中左ノ通改正ス

第一條　酒精ヲ左ニ掲クル物品ノ製造ニ使用シタルトキハ工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻税法第一條ニ依リ金額下付ノ請求ヲ爲スコトヲ得

一　食酢
二　タンニン酸
三　苛性加里
四　クロロフォルム
五　ヨードフォルム
六　エーテル
七　醋酸エーテル
八　脂肪酸エーテル
九　クロールエチール
十　ブロームエチール
十一　ヨードエチール
十二　エチール硫酸鹽類
十三　ベンチヂン
十四　トリヂン
十五　エチールアニリン
十六　パラフェニレンダイアミン（パラミン）
十七　アリザリンブリュー
十八　サルファーブリュー
十九　アセチールサリチール酸（アスピリン）
二十　サリチール酸フェニール（サロール）
二十一　フェナセチン
二十二　モノフェニール尿素
二十三　硫酸キニーネ
二十四　鹽酸キニーネ
二十五　エチール炭酸キニーネ（オイヒニン）
二十六　炭酸グアヤコール（ツオタール）
二十七　硫酸アトロピン
二十八　ブローム樟腦
二十九　抱水クロラール
三十　プロテイン銀（プロタルゴール）
三十一　ヘキサメチレンテトラアミン（ウロトロピン）
三十二　サルヴァルサン類
三十三　ヴィタミン類
三十四　ヂアスターゼ類
三十五　樟腦
三十六　龍腦
三十七　シトロネロール
三十八　ゼラニオール
三十九　燃料用變性酒精
四十　ヴァニシュ（尼斯）
四十一　コロヂオン（瓦斯マントル、寫眞材料、寫眞製版若ハ擬革ノ製造又ハ塗料ニ供スルモノニ限ル）
四十二　セリュロイド
四十三　火藥
四十四　石鹼
四十五　外國ニ輸出スル香水其ノ他ノ化粧液
四十六　外國ニ輸出スル煙草香料
四十七　外國ニ輸出スル擬眞珠
第六條中「又ハ擬眞珠」ヲ「、煙草香料又ハ擬眞珠」ニ改ム

第七條ニ左ノ一號ヲ加フ

六　殘渣アルトキハ其ノ種類、數量及處理ノ顛末

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

明治三十九年四月二十四日公布第八十六號工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法施行規則抄錄

第一條　酒精ヲ左ノ物品製造ニ使用シタルトキハ工業用ニ供シタルモノトシ工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法第一條ニ依リ金額下付ノ請求ヲ爲スコトヲ得

火藥
尼斯
依的兒
石鹼
單寧酸
龍腦
食醋
セルロイド
コロヂオン（瓦斯マントル、寫眞材料、寫眞製版、擬革又ハ帽子ノ製造用ニ供スルモノニ限ル）
パラフェニレンダイアミン（パラミン）
外國ニ輸出スル香水其ノ他ノ化粧液
燃料用變性酒精（政府ノ定ムル方法ニ依リ酒精ヲ變性シタルモノ）
酒精ヲ左ノ用途ニ供シタルトキ　亦前項ニ同シ
セルロイド加工用
樟腦精製用
外國ニ輸出スル擬眞珠製造用

第六條第二項

酒精ヲ外國ニ輸出スル香水其ノ他ノ化粧液又ハ擬眞珠ノ製造用ニ供シ金額ノ下付ヲ請求スル場合ニ於テハ前項ノ申請書ニ輸出免狀又ハ之ニ代ヘキ書類ヲ添附スヘシ

第七條　工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法ニ依リ金額下付ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ少タクモ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

（左記略ス）

省令

◎大藏省令第二十二號

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法第四條ニ依リ酒精ノ變性ヲ命スル場合混和スヘキ物品ノ種類及數量等左ノ通相定ム

大正十五年五月五日

大藏大臣　濱口　雄幸

第一條　左ニ掲クル物品ノ製造ニ使用スル酒精ノ變性ニ際シ酒精一石ニ付混和スヘキ物品及其ノ數量ハ左ノ標準ニ據ルヘシ

一　食酢

酸量（醋酸トシテ）一「パーセント」以上、酒精分十五「パーセント」以下トナル程度以上ノ稀酢又ハ種酢及水

二　タンニン酸

樟腦油（赤油又ハ白油）六百匁以上
五倍子末三十貫匁以上

三　クロロフォルム

「クロール石炭」（有效「クロール」三十「パーセント」以上ヲ含有スルモノ）五十貫匁以上
比重一、四九ノ「クロロフォルム」五百匁以上

四　ヨードフォルム

「アセトン」、「アセトン油」ノ一種又ハ二種ヲ通シテ三貫五百匁以上
「ヨード」及「ヨードフォルム」各三百五十匁以上

五　エーテル

「ベンゾファストカーレット」4BS及「ローダミン」B（サフラニリン）ヲ等量ニ混和シタル著色料一「グラム」以上
比重〇、七三以下ノ「エーテル」五百匁以上及比重一、八三以上ノ硫酸五百匁以上又ハ「エーテル」殘渣五貫匁以上

六　醋酸エーテル

「ベンゾファストスカーレット」4BS及「ローダミン」B（サフラニリン）ヲ等量ニ混和シタル著色料一「グラム」以上

比重一、八三以上ノ硫酸五百匁以上及「醋酸ナトリウム」又ハ比重一、〇四以上ノ醋酸五百匁以上
比重〇、九一以下ノ「醋酸エーテル」五百匁以上

七　脂肪酸エーテル

「ベンゾファストスカーレット」4BS及「ローダミン」B（サフラニリン）ヲ等量ニ混和シタル著色料一「グラム」以上
「アセトン」、「アセトン油」ノ一種又ハ二種ヲ通シテ三貫五百匁以上
脂肪酸エーテル及脂肪酸類（醋酸石灰ヨリ醋酸ヲ製造スル際ニ副生スル「プロピオン酸」、「ブチール酸」、蓚酸及少量ノ醋酸ノ混合物）ヲ等量ニ混和シタルモノ五百匁以上

八　クロールエチール

「ベンゾファストスカーレット」4BS及「ローダミン」B（サフラニリン）ヲ等量ニ混和シタル著色料一「グラム」以上
比重一、八三以上ノ稀酸五百匁以上
「クロールエチール」五百匁以上

九　ブロームエチール

「ベンゾファストスカーレット」4BS及「ローダミン」B（サフラニリン）ヲ等量ニ混和シタル著色料一「グラム」以上
比重一、八三以上ノ硫酸五百匁以上及「ブローム加里」三貫五百匁以上
比重一、四五以上ノ「ブロームエチール」五百匁以上

十　ヨードエチール

「ベンゾファストスカーレット」4BS及「ローダミン」B（サフラニリン）ヲ等量ニ混和シタル著色料一「グラム」以上
「ヨード」三貫五百匁以上及赤燐五百匁以上
比重一、九四以上ノ「ヨードエチール」五百匁以上

十一　エチール硫酸鹽類

「ベンゾファストスカーレット」4BS及「ローダミン」B（サフラニリン）ヲ等量ニ混和シタル著色料一「グラム」以上
比重一、八三以上ノ硫酸十貫匁以上
「エチール硫酸鹽類」五百匁以上
十二　ベンチヂン又ハトリヂン
「アニリン」五貫匁以上及木精三貫五百匁以上
各製品三百五十匁以上又ハ各其ノ製造殘渣五百匁以上

十三　エチールアニリン

「ベンゾファストスカーレット」4BS及「ローダミン」B（サフラニリン）ヲ等量ニ混和シタル著色料一「グラム」以上
「アニリン」三十五貫匁以上及「鹽酸アニリン」二十四貫匁以上
「エチールアニリン」三百五十匁以上

十四　パラフェニレンダイアミン（パラミン）

「アニリン」十貫匁以上、木精四貫匁以上及鹽酸三貫五百匁以上

十五　樟腦

「エーテル」、「ベンゾール」、「石油ベンヂン」、「クロロフォルム」、二硫化炭素、四鹽化炭素ノ一種又ハ數種ヲ通シテ三貫五百匁以上
山梨樟腦、再製樟腦ノ一種又ハ二種ヲ通シテ一貫匁以上

十六　龍腦

「ベンゾファストスカーレット」4BS及「ローダミン」B（サフラニリン）ヲ等量ニ混和シタル著色料一「グラム」以上
樟腦三貫五百匁以上

十七　シトロネロール又ハゼラニオール

「ベンゾファストスカーレット」4BS及「ローダミン」B（サフラニリン）ヲ等量ニ混和シタル著色料一「グラム」以上
山椒油十貫五百匁以上及「シトロネロール」又ハ「ゼラニオール」三百五十匁以上

十八　燃料用變性酒精

「エーテル」、「ベンゾール」ノ一種又ハ二種ヲ通シテ十貫匁以上
「ピリヂン鹽基」二貫匁以上又ハ「アセ

トン油」一貫五百匁以上及「アムモニア水（日本藥局方）三百八十匁以上

十九　ヴァニシュ（尼斯）

樟腦、樟腦油（赤油又ハ白油）ノ一種又ハ二種ヲ通シテ五百匁以上
樹脂又ハ樹脂類似品八貫四百匁以上

二十　瓦斯マントル用コロヂオン

「アセトン」、「アセトン油」ノ一種又ハ二種ヲ通シテ三貫五百匁以上
「エーテル」三十五貫匁以上及硝化綿二貫匁以上

二十一　寫眞材料用又ハ寫眞製版用コロヂオン

「エーテル」三十五貫匁以上及硝化綿二貫匁以上
尙「コロヂオン」十貫匁ニ付「臭化カドミウム」及「臭化アムモニウム」各二十匁以上又ハ硝酸銀四百五十匁以上及「臭化リヂウム」若ハ「臭化リヂウム」十二匁以上ヲ混和スヘシ

二十二　擬革用又ハ塗料用コロヂオン

「エーテル」、「アセトン」、「アセトン油」、「テレビン油」、「ベンゾール」ノ一種又ハ數種ヲ通シテ三貫五百匁以上
飴狀ヲ呈スル程度ノ硝化綿

二十三　セリュロイド

「エーテル」、「アセトン」、「アセトン油」、「テレビン油」、「ベンゾール」ノ一種又ハ數種ヲ通シテ三貫五百匁以上
餅狀ヲ呈スル程度ノ硝化綿及樟腦又ハ餅狀ヲ呈スル程度ノ「セリュロイド」

二十四　火藥

(イ)　雷汞

再個凝縮液一貫六百匁以上

(ロ)　爆粉

凝縮液二貫匁以上及再個酒精四貫二百匁以上

（凝縮液トハ雷汞化成作業中基養スル瓦斯ヲ凝縮瓶ニ導キ凝縮セシメタルモノニシテ水分、酒精、「アルデヒド」及「硝酸エーテル」等ヲ含有スル液ヲ謂ヒ、再個凝縮液トハ凝縮液ヲ石灰ニテ中和シ蒸個シタルモノニシテ酒精、「アルデヒード」及「硝酸エーテル」等ヲ含有スル液ヲ謂ヒ、再個酒精トハ爆粉製造ノ際使用シタル稀薄酒精ヲ再個シタルモノニシテ七十三乃至八十七「パーセント」ノ酒精分ヲ含有スル液ヲ謂フ）

二十五　石鹼

苛性曹達百二十匁以上ノ水溶液
樟腦油（赤油又ハ白油）若ハ芳香性揮發油二百五十匁以上又ハ香料及石鹼ノ適量

二十六　外國ニ輸出スル香水其ノ他ノ化粧液又ハ煙草香料

二十七　外國ニ輸出スル擬眞珠

樟腦、樟腦油（赤油又ハ白油）五百匁以上及「アセトン」、「アセトン油」、「テレビン油」、「ベンゾール」ノ一種又ハ數種ヲ通シテ三貫五百匁以上

二十八　苛性加里、アリザリンブリュー、サルファーブリュー、アセチールサリチール酸（アスピリン）、サリチール酸フェニール（ザロール）、フェナセチン、モノフェニール尿素、硫酸キニーネ、鹽酸キニーネ、エチール炭酸キニーネ（ユイヒニン）、炭酸ダアヤコール（ツオタール）、硫酸アトロピン、ブローム樟腦、抱水クロラール、プロテイン銀（プロタルゴール）、ヘキサメチレンテトラアミン（ムロトロピン）、サルヴァルサン類、ヴィタミン類、チアスターゼ類

本精、「ベンゾール」、「石油ベンヂン」ノ一種又ハ數種ヲ通シテ三貫五百匁以上
各製品三百五十匁以上又ハ各其ノ製造殘渣五百匁以上

第二條　前條ノ規定ニ拘リ難キ場合ニ於テハ所轄稅務署ノ承認ヲ得タルトキハ其ノ變性方法ノ一部又ハ全部ヲ變更スルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正六年大藏省令第三十六號ハ之ヲ廢止ス

（參照）

大正六年十一月十三日大藏省令第三十六號ハ本號ト同件ナリ

告示

◎内務省告示第六十五號

明治三十三年九内務省告示第八十六號ヲ以テ砂防設備ヲ要スル土地ト指定セル左記土地ニ對シ砂防法第六條ニ依リ大正十五年度以降本大臣ニ於テ砂防工事ヲ施行ス

大正十五年五月五日

内務大臣　若槻禮次郎

縣名	郡名	村名	大字	字名
滋賀	栗太	下田	森	堂塔谷
奈良	山邊	豐原	岩屋	クリノキタニ、ナシガクボ山ヲ（ヘラヤマ、ヲクハケタニ、ヲクミヤマ

◎大藏省告示第六十六號

從來稅務監督局管内高鍋稅務署ヲ大正十五年五月十五日宮崎縣兒湯郡高鍋町大字南高鍋千四百拾六番地ノ一ニ移ス

大正十五年五月五日

大藏大臣　濱口　雄幸

◎農林省告示第八十八號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

大正十五年五月五日

農林大臣　早速　整爾

縣名	郡名	村名	大字	字地番	面積
秋田縣	山本郡	澤目村	大字目名	萬秋ノ台	五ノ三 町段畝歩
同	同	同	同	同ノ四	一〇、二四
同	同	同	同	同ノ五	一〇
同	同	同	同	同ノ六	九
同	同	同	同	同ノ七	八 三
同	同	同	同	同ノ八	二
同	同	同	同	同ノ九	大
同	同	同	同	同ノ一〇	一四
同	同	同	同	同ノ一一	一

◎農林省告示第八十九號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

大正十五年五月五日

農林大臣　早速　整爾

縣名	郡名	村名	大字	字地番	面積
栃木縣	鹽谷郡	氣村	大字下伊佐野	小入道	九八三 町段畝歩
同	同	同	同	鍋ケ谷	九八四 二三七、六〇〇〇

◎農林省告示第九十號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

大正十五年五月五日

農林大臣　早速　整爾

縣名	郡名	村名	大字	字地番	面積
千葉縣	海上郡	矢指村	大字足川	濱地	三、九六五ノ三 段畝歩 三〇八
同	同	同	同	同ノ二四	三〇六
同	同	同	同	同ノ二五	三〇
同本	銚子町			後飯	一、三五四ノ五 二〇九
同	同	同	同	清水	二、七二八 三一八
同	同	同	同	同ノ二九	二、七二九 四一四
同安房	郡西三原	村	大字海發	取田原	一、六〇四ノ三一 見込
同	同	同	同	同ノ二四	一一九 大二六ノ角
同	同	同	同	同ノ二五	一一五 大二六ノ角
同	同	同	同	同ノ二六	一三一三 大〇〇二ノ角

◎農林省告示第九十一號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

大正十五年五月五日

農林大臣　早速　整爾

縣名	郡名	村名	大字	字地番	面積
愛知縣	知多郡	横須賀町	大字養父	宮山	二〇ノ三 段畝歩 七
同	同	同	同	同	二〇ノ四 八
同	同	同	同	同	二〇ノ五 二二
同丹利郡	城東村	大字赤師	野中田	大ノ二	一〇
同	同	同	同	同 大ノ三	一〇〇

第4107号

同犬山町　大字犬山　三ノ一
寺下　二二七
同名古屋市中區廣路町
川名　二　鉄道
同東區北子種町　五八ノ角
愛宕町　一〇六　鉄道
同東區北子種町　一四一六
同賀茂郡神津村大字下立鳥　一九一八
洗出　八二ノ二
同　一〇二
同海美郡老津村　八二ノ三
宮脇　一五ノ二　鉄道　五一〇六ノ角
同　一五ノ二　鉄道　一三〇〇ノ角
同碧海郡矢作町大字西牧内　三一二
平野　一三六　鉄道　三一七ノ角
鉄道　五二二

◎農林省告示第九十二號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

大正十五年五月五日

農林大臣　早速整爾

字	地番	面積
村岡	九〇九六	段歩 二一一三
同南桑田郡本梅村大字東加舎	七二三	二二一
同加佐郡國田下村大字久田美	一二三六	一〇〇〇
同綴喜郡田原村大字南樂師山	二二	九〇〇九

◎逓信省告示第九百三十一號

無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信無線電話施設ヲ許可セリ

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

一施設者名　株式會社神戸製鋼所

二施設ノ目的　無線電信法第二條第一號乃至第三號ニ依リ航行ノ安全、漁業及電報送受ニ使用

三機器裝置場所　帆船第七六乃志滿丸（ダイヂロクノシマル）

四無線電信呼出符號　JGMB

無線電話呼出名稱　第七六乃志滿丸

五通常通達距離　無線電信　四百海里

畫間　無線電話　八十海里

六裝置法式　無線電信持續及可聴持續式（第六百「メートル」、無線電話三百「メートル」）

七使用電波長　不定

八通信執務時間　不定

◎逓信省告示第九百三十二號

大正十二年五月逓信省告示第九百二十七號及大正十二年五月逓信省告示第九百二十八號氷室食料株式會社施設汽船秩父丸及樣名丸裝置私設無線電信施設者名義左ノ通變更ヲ許可セリ

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

新名義人　横濱船業株式會社

◎逓信省告示第九百三十三號

大正十五年四月三十日ヨリ左記電信取扱所ノ位置ヲ下記ノ通變更ス

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

名稱	舊位置	新位置
秩父丸無線電信取扱所	水室食料株式會社所屬汽船秩父丸	横濱船業株式會社所屬汽船秩父丸
樣名丸無線電信取扱所	水室食料株式會社所屬汽船樣名丸	横濱船業株式會社所屬汽船樣名丸

◎逓信省告示第九百三十四號

大正七年五月逓信省告示第八百二十七號太洋海運株式會社施設汽船梅丸裝置私設無線電信施設者名義左ノ通變更ヲ許可セリ

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

新名義人　高橋幸三

◎逓信省告示第九百三十五號

大正十五年四月三十日ヨリ左記電信取扱所ノ位置ヲ下記ノ通變更ス

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

名稱	舊位置	新位置
梅丸無線電信取扱所	太洋海運株式會社所屬汽船梅丸	高橋幸三所屬汽船梅丸

◎逓信省告示第九百三十六號

開港港則施行細則第十九條第二項ノ規定ニ依リ大阪稅關ニ於テ大阪港内左記區域甲ノ部分ニ對シ大正十五年五月五日ヨリ大正十六年三月三十一日迄、乙ノ部分ニ對シ大正十五年五月六日ヨリ大正十六年三月三十一日迄一般船舶ノ航行ヲ禁止シタリ

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

區域

甲

一　左記(イ)(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)及(ヘ)ノ各點ヲ順次連結シタル區域

(イ)大保山運河南側中央埋立地（六條通、七條通及八條通）ノ南西角

(ロ)同上ヨリ二百四十四度（南六十九度半西）

(ハ)同上二百七度（南三十二度半西）

(ニ)同上百六十五度（南九度半東）

(ホ)同上百四十一度半（南三十三度東）

(ヘ)前記埋立地ノ南東角

二　左記(イ)(ロ)(ハ)及(ニ)ノ各點ヲ順次連結シタル區域

(イ)前號埋立地ニ東隣セル埋立地ノ南西角

(ロ)同上ヨリ二百四十七度（南七十二度半西）

(ハ)同上百九十六度（南二十一度半西）

(ニ)同上百十九度（南五十五度半東）

三　左記(イ)(ロ)(ハ)及(ニ)ノ各點ヲ順次連結シタル區域

(イ)大桟橋先端ノ燈臺ヨリ三度半（北九度東）

(ロ)同上三百四十六度（北八度半西）

(ハ)同上三百十二度（北四十二度半西）

(ニ)同上三百二十七度（北二十七度半西）

左記(イ)(ロ)(ハ)及(ニ)ノ各點ヲ順次連結シタル區域

(イ)木津川運河西端北角ヨリ二百九十五度（北五十九度半西）

(ロ)同上二百八十七度（北六十七度半西）

(ハ)同上二百六十三度（南八十八度半西）

(ニ)同上二百三十三度（南五十八度半西）

七百四十米
八百六十米
三百七十米

◎逓信省告示第九百三十七號

明治三十九年ノ逓信省告示第二百六十四號市外通話區域及普通通話料中左ノ通追加シ大正十五年五月六日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

市外通話區域　一通話時ノ普通通話料

秋田	札幌間	金一圓五十錢
同	小樽間	金一圓二十五錢
同	函館間	金八十五錢
同	札幌間	金一圓五十錢
同	小樽間	金一圓五十錢
同	函館間	金九十錢
青森	宇都宮間	金六十五錢

◎逓信省告示第九百三十八號

鐵道省施設汽船田村丸裝置官廳用無線電信通信執務時間左ノ通變更ヲ承認セリ

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

通信執務時間　無休

◎逓信省告示第九百三十九號

大正七年ノ逓信省告示第百十二號辰馬汽船株式會社施設汽船悠紀丸裝置私設無線電信使用電波長左ノ通變更ヲ許可セリ

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

使用電波長　三百「メートル」、四百五十「メートル」、六百「メートル」、八百「メートル」

◎逓信省告示第九百四十號

大正四年勅令第二百十五號ニ基ク請願ニ依リ大正十五年五月十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

札幌市北十三條西五丁目（札幌局集配區内）

◎逓信省告示第九百四十一號

大正十五年三月二十二日限リ左記電信取扱所ヲ閉鎖ス但シ當該所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

名稱	位置	承繼局
大東丸無線電信取扱所	樺太漁業株式會社所屬汽船大東丸	神戸郵便局

◎逓信省告示第九百四十二號

大正十五年五月六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第百五十二條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

名稱	位置
市野郵便局	靜岡縣濱名郡市野村
那須郵便局	栃木縣那須郡那須村

◎逓信省告示第九百四十三號

明治三十九年ノ逓信省告示第二百六十四號市外通話區域及普通通話料中左ノ通追加シ大正十五年五月六日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

市外通話區域　一通話時ノ普通通話料

市野	一宮、尾張間	金二十五錢
同	島田間	金二十五錢
同	沼津間	金三十五錢
同	二川間	金二十錢
那須	鹿島、烏帽子間	金二十五錢
同	栃木間	金二十五錢
同	馬頭間	金二十五錢
同	馬頭間	金二十錢

◎逓信省告示第九百四十四號

大正四年勅令第二百十五號ニ基ク請願ニ依リ大正十五年五月六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

名稱	位置
櫻井郵便局	福岡縣糸島郡櫻井村
北崎郵便局	同同北崎村

◎逓信省告示第九百四十五號

大正三年ノ逓信省告示第七百九十九號呼出區域中左ノ通追加シ大正十五年五月六日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

呼出區域

一福岡縣糸島郡櫻井村	字谷、同洞、同門、同上同海老崎、同奥、同根、同永、同浦、同行、同田、同末、同柚、同赤、同天神、同原、同宮ノ前、同廣泊、同畑中	櫻井
一同	北崎村大字宮浦	北崎

◎逓信省告示第九百四十六號

明治三十九年ノ逓信省告示第二百六十四號市外通話區域及普通通話料中左ノ通追加シ大正十五年五月六日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

市外通話區域　一通話時ノ普通通話料

櫻井	前原間	金十錢
同	北崎間	金五錢
同	周船寺間	金十錢
同	加布里間	金十錢
同	深江間	金十錢
同	福岡間	金十五錢
同	姪濱間	金十錢
同	今宿間	金十錢
同	香椎間	金二十錢
同	新宮間	金二十錢
同	西戸崎間	金二十錢
同	志賀島間	金二十錢
同	青柳間	金二十錢
同	畦町間	金二十錢
同	福間間	金二十錢
同	津屋崎間	金二十錢
同	東郷間	金二十五錢
同	赤間間	金二十五錢
同	竹下間	金二十錢
同	雑餉隈間	金二十錢
同	宇美間	金二十錢
同	二日市間	金二十錢
同	甘木間	金二十五錢
同	飯塚間	金二十五錢
同	直方間	金二十五錢
同	若松間	金二十五錢
同	門司間	金二十五錢
同	八幡間	金二十五錢
同	小倉間	金二十五錢
同	久留米間	金二十五錢
同	大牟田間	金二十五錢
同	鳥栖間	金二十錢
同	八幡間	金二十五錢
同	小倉間	金二十五錢
同	久留米間	金二十五錢
同	大牟田間	金二十五錢
同	鳥栖間	金二十錢

◎逓信省告示第九百四十七號

大正十五年五月六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

名稱	位置
練馬郵便局	東京府北豐島郡下練馬村

◎逓信省告示第九百四十八號

大正三年ノ逓信省告示第七百九十九號呼出區域中左ノ通追加シ大正十五年五月六日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年五月五日

逓信大臣　安達謙藏

呼出區域

一東京府	北豐島郡下練馬村	宇谷戸、同出頭、同栗山、大門、同西原、同烏帽子、同出崎、同羽澤、同南羽澤、同羽澤、同蕨ノ山、同宿、同淵、同化味、同正久、同保谷、同出子谷、同化味、同宿、同西原、同南三軒、同向早淵、同縋屋、同谷戸、同栗山、同栗山下、同中宮、同北宮、同早淵、同西早淵、同早淵	練馬
同	上練馬村	大字上練馬、字海老谷戸、同東向山、同西向山、同北向山、同向山、同向山ノ谷戸、同東貫井、同向貫井	練馬
同	中新井村	大字中新井、字南（同號原ヲ除ク）	練馬

第4107号

◎遞信省告示第九百四十九號

明治三十九年遞信省告示第二百六十四號市外通話區域及普通通話料中左ノ通追加シ大正十五年五月六日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年五月五日

遞信大臣　安達　謙藏

市外通話區域

練馬	東京間	金十五錢	一通話時ノ普通通話料
同	池上間	金十五錢	
同	大森間	金十五錢	
同	蒲田間	金十五錢	
同	羽田間	金二十錢	
同	世田ケ谷間	金十錢	
同	玉川間	金十五錢	
同	中野（武藏）間	金十錢	
同	荻窪間	金十錢	
同	田無間	金十錢	
同	調布間	金十五錢	
同	國分寺間	金十五錢	
同	立川間	金二十錢	
同	八王子間	金二十錢	
同	東村山間	金十五錢	
同	板橋間	金五錢	
同	王子間	金十錢	
同	赤羽間	金十錢	
同	小平間	金十五錢	
同	千住間	金十錢	
同	白子間	金五錢	
同	所澤間	金十五錢	
同	大和田間	金十錢	
同	志木間	金二十錢	
同	入間川間	金二十錢	
同	川越間	金二十錢	
同	坂戸間	金二十錢	
同	越生間	金二十錢	
同	松山（武藏）間	金二十錢	
同	蕨間	金十錢	
同	浦和間	金十錢	
同	川口間	金十錢	
同	大宮（武藏）間	金十五錢	
同	上尾間	金二十錢	
同	桶川間	金二十錢	
同	豐岡（武藏）間	金二十錢	
同	飯能間	金二十錢	
同	甲府間	金二十錢	
同	中原間	金十五錢	
同	溝ノ口間	金十五錢	
同	川崎間	金二十錢	
同	横濱間	金二十錢	
同	府中間	金十錢	
同	東野町間	金十錢	
同	鶴見間	金二十錢	
同	平方間	金二十錢	

◎遞信省告示第九百五十號

大正十五年四月二十四日限リ左記電信取扱所ヲ閉鎖ス但シ當該所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

大正十五年五月五日

遞信大臣　安達　謙藏

名稱	位置	承繼局
西海丸無線電信取扱所	勝田汽船株式會社所屬汽船西海丸	神戸郵便局

◎遞信省告示第九百五十一號

大正十四年六月遞信省告示第千四百二十四號「ストックホルム」締結萬國郵便條約ニ依リ關稅ヲ課セラルヘキ物品ヲ書狀トシテ輸入スルコトヲ許ス名宛國名表中左ノ通改正ス

大正十五年五月五日

遞信大臣　安達　謙藏

一「カナダ」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

「キュバ」共和國

一佛蘭西國殖民地ノ內ノ部中左ノ如ク改ム

一「ダホメー」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

「ダホメー」

一印度ノ佛蘭西國殖民地ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

「マダガスカル」

一「セネガル」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

「ソマリ」海岸

一英國諸殖民地及保護領ノ內ノ部中左ノ如ク改ム

一北「ボルネオ」ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

「アルヒネイ」

「クダー」（「ペルリ」州ヲ含ム）及「クランタン」馬來非聯邦

一英領「ギアーヌ」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

香港

◎遞信省告示第九百五十二號

郵便局ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

大正十五年五月五日

遞信大臣　安達　謙藏

英國貨幣	出振	一ポンド 一シリング 一ペンニ	一圓ニ付 1/11 3/16 即 一ポンド 五一・七五二三 四・三一二五 シリング 十一 八八 ペンス
	到着	一ポンド 一シリング 一ペンス	一圓ニ付 一〇・四二〇〇 五一・〇〇〇 四・二五五
米國貨幣	出振	一ダラー	一圓ニ付 四十七・七二二六六 ント
	到着	一ダラー	二・一一・六四〇
加奈陀貨幣	出振	一ダラー	一圓ニ付 二・一二〇二 ント 二・一二五
	出振	一フラン	一圓ニ付 十四・七〇七 ラン 十五・サンチーム 〇二七
佛蘭西貨幣	著到	一フラン	一圓ニ付 六・九四四
白耳義貨幣	出振	一フラン	一圓ニ付 十三・二十九 ン 二十九・サンチーム 九六四
ルーマニア貨幣	出振	一ルー	一圓ニ付 百二十一 「ルー」 八九〇 「バニ」
スヰス貨幣	出振	一フラン	一圓ニ付 二・一六七 ラン 二十九・サンチーム 九九八
オランダ貨幣	出振	一フロリン	一圓ニ付 一・二九八 リン 十五・セント 五〇〇
蘭領東印度貨幣	出振	一フロリン	一圓ニ付 一・二九八 リン 十六・セント 五〇〇
デンマーク貨幣	出振	一クローネ	一圓ニ付 五・六五五 ネ 七十六・オール 八一六
ノールヱー貨幣	出振	一クローネ	一圓ニ付 四・六三六 ネ 十五・オール 六一
スウエーデン貨幣	出振	一クローナ	一圓ニ付 五七八〇三 ナ 十三・オール 〇〇一

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

◎東京府告示保編第一號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

大正十五年五月五日

東京府知事　平塚　廣義

字	地番	面積	所有者
伊豆國大島泉津村			
波牛	七一	町段歩 三一二〇〇三ノ角	佐藤　春造
同差木地村			
奥山	一四六	八五一二	差木地村
余川	一一九	見込 二一二一、六四〇六ノ角 二、九三〇八	谷口　弘
武藏國南多摩郡恩方村大字上恩方			
駒木野	七〇一	一、五一〇八ノ角 一二〇〇	恩方村大字上恩方
同	七〇二	三、四三〇〇	
同	七〇三	二、六八〇〇	
狐塚	一二六三イ	五、六八〇〇	
同	一二六三ロ	一九〇〇	同
同	一二六九	三〇〇七	關山　愛次
同	一二七〇	三〇〇〇	門倉福太郎
白澤	一六九九イ	一、一〇〇	同
同	一六九九ロ	一〇〇	松崎熊太郎
同	一七一六	三八〇〇	同
宮ノ下	一九二六	二八〇〇	草木福太郎
同	一九二七	四五〇〇	下田　常七 外七名
森久保	二五二三	八一〇〇	恩方村大字上恩方
同	二五二四	二二〇〇	恩方村大字上恩方
振宿	二六七八	一、六〇〇	松崎熊太郎
同	二七〇三	八五〇〇	關山　時藏
同	二七六七	三一〇〇	檜本良重郎
醍醐	二七六八イ	七一〇〇	野島倉太郎
同	二九九八	四〇〇	松崎熊太郎
同	三一五九	五九〇〇	野島倉太郎
川井野	四六六一	三一〇〇	同
同	四六六二	一〇〇	松崎熊太郎
同	四六六三	二一六	同
同	四六六四	三一一	同
土代澤	四七〇七	四一〇〇	同
同大字下恩方		四一〇〇	山田　英一
瀧ノ澤	二四〇〇七	五三〇〇ノ角	土屋留次郎
同	二四〇〇八	見込 一八一五	同
作ヶ道	二六八九	一一五	恩方村大字下恩方
同	二九九〇	五〇〇	中島　仙助
同大字小津			
いり山	一一九〇	三七〇〇	青木　助藏
同淺川村大字上長房			
小下澤	一三一四	六四〇〇〇	南多摩郡淺川村

字	地番	面積	所有者
同	二五	見込 一二一六ノ角 一〇〇〇	同
同	二六	四〇〇	柴田　清藏
小佛	一八六ノ一	三一八	同
同	一八六ノ二	三〇〇〇〇	同
同大字上櫛田			同
〃太平	四二三五ノ三	一一、一一〇〇	南多摩郡淺川村

◎愛知縣告示保編第一號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林（土砂扞止）ニ編入ス

大正十五年五月五日

愛知縣知事　山脇　春樹

字	地番	面積	所有者
額田郡岩津村大字東田			
三月夕入	段歩 三〇六ノ角		柴田定五郎
同	一四	見込 三一六	山林
同	一五	三五	柴田甚三郎
同	一六ノ三	見込 四一二ノ角	柴田　要吉
同	一七	二〇〇	同
同	一八	八一五	同
同	一九	六〇六	柴田賀太郎
同	二〇	見込 八一二ノ角 六一〇	小幡權太郎
同	二一	一〇〇ノ角	同
同	二二	同	同
同	二三ノ二	三三	同
同	二三ノ三	三三	同
同	二四	一九	同
同	二五ノ二	見込 四一六ノ角 二〇〇	柴田賀太郎
同	二六	三	同
同	二七	見込 四一六ノ角 二〇〇	柴田定五郎
同	二八	見込 四一六ノ角 二〇〇	柴田　要吉
同	二八ノ二	一〇	小幡桃太郎
同	二八ノ三	八〇六	柴田藤太郎
同	二八ノ四	六〇〇	柴田善四郎
同	二八ノ五	七〇〇	小幡桃太郎
同	二八ノ六	七一八	同
同	二八ノ七	一一三ノ角	小原欽之助
同	二八ノ八	見込 八〇〇	同
同	二八ノ九	一〇〇	柴田　安市
同	二八ノ一〇	一八〇	同
同	二八ノ一一	見込 一一〇	柴田　廣吉
同	二八ノ一二	四〇〇	同
同	二八ノ一三	一八〇	柴田羽一郎
同	二八ノ一四	見込 一一〇	柴田　清藏
同	二八ノ一五	四〇〇	同
同	二八ノ一六	一一六	小幡桃太郎
同	二八ノ一七	見込 一一〇	同
同	二八ノ一八	一一一	柴田　濟藏
同	二八ノ一九	一一三	同
同	二八ノ二〇	一一四	柴田　廣吉
同	二八ノ二一	一一五	柴田　濟藏
同	二八ノ二二	一一六	同
同	二八ノ二三	一一七	柴田錫一郎
同	二八ノ二四	一一八	柴田　廣吉
同	二八ノ二五	一一九	柴田定五郎
同	二八ノ二六	一二〇	小幡桃太郎
同	二八ノ二七	一二一	柴田　安市
同	二八ノ二八	一二二	柴田　廣吉
同	二八ノ二九	一二三	柴田羽一郎
同	二八ノ三〇	一二四	柴田　清藏
同	二八ノ三一	一二五	同
同	二八ノ三二	一二六	小幡桃太郎
同	二八ノ三三	一二七	同
同	二八ノ三四	一二八	同
同	二八ノ三五	一二九	同
同	二八ノ三六	一三〇	同
同	二八ノ三七	一三一	同
同	二八ノ三八	一三二	同
同	二八ノ三九	一三三	同
同	二八ノ四〇	一三四	同
同	二八ノ四一	一三五	同
同	二八ノ四二	一三六	同
同	二八ノ四三	一三七	同
同	二八ノ四四	一三八	同
同	二八ノ四五	一三九	同
同	二八ノ四六	一四〇	同
同	二八ノ四七	一四一	同
同	二八ノ四八	一四二	同
同	二八ノ四九	一四三	同
同	二八ノ五〇	一四四	同
同	二八ノ五一	一四五	同
同	二八ノ五二	一四六	同
同	二八ノ五三	一四七	同
同	二八ノ五四	一四八	同
同	二八ノ五五	一四九	同
同	二八ノ五六	一五〇	同
同	二八ノ五七	一五一	同
同	二八ノ五八	一五二	同
同	二八ノ五九	一五三	同
同	二八ノ六〇	一五四	同
同	二八ノ六一	一五五	同
同	二八ノ六二	一五六	同
同	二八ノ六三	一五七	同
同	二八ノ六四	一五八	同
同	二八ノ六五	一五九	同
同	二八ノ六六	一六〇	同
同	二八ノ六七	一六一	同
同	二八ノ六八	一六二	同
同	二八ノ六九	一六三	同
同	二八ノ七〇	一六四	同
同	二八ノ七一	一六五	同
同	二八ノ七二	一六六	同
同	二八ノ七三	一六七	同
同	二八ノ七四	一六八	同
同	二八ノ七五	一六九	同
同	二八ノ七六	一七〇	同
同	二八ノ七七	一七一	同
同	二八ノ七八	一七二	同
同	二八ノ七九	一七三	同
同	二八ノ八〇	一七四	同
同	二八ノ八一	一七五	同
同	二八ノ八二	一七六	同
同	二八ノ八三	一七七	同
同	二八ノ八四	一七八	同
同	二八ノ八五	一七九	同
同	二八ノ八六	一八〇	同
同	二八ノ八七	一八一	同
同	二八ノ八八	一八二	同
同	二八ノ八九	一八三	同
同	二八ノ九〇	一八四	同
同	二八ノ九一	一八五	同
同	二八ノ九二	一八六	同
同	二八ノ九三	一八七	同
同	二八ノ九四	一八八	同
同	二八ノ九五	一八九	同
同	二八ノ九六	一九〇	同
同	二八ノ九七	一九一	同
同	二八ノ九八	一九二	同
同	二八ノ九九	一九三	同
同	二八ノ一〇〇	一九四	同
同	二八ノ一〇一	一九五	同
同	二八ノ一〇二	一九六	同
同	二八ノ一〇三	一九七	同
同	二八ノ一〇四	一九八	同
同	二八ノ一〇五	一九九	同
同	二八ノ一〇六	二〇〇	同
同	二八ノ一〇七	二〇一	同
同	二八ノ一〇八	二〇二	同
同	二八ノ一〇九	二〇三	同
同	二八ノ一一〇	二〇四	同
同	二八ノ一一一	二〇五	同
同	二八ノ一一二	二〇六	同
同	二八ノ一一三	二〇七	同
同	二八ノ一一四	二〇八	同
同	二八ノ一一五	二〇九	同
同	二八ノ一一六	二一〇	同
同	二八ノ一一七	二一一	同
同	二八ノ一一八	二一二	同
同	二八ノ一一九	二一三	同
同	二八ノ一二〇	二一四	同
同	二八ノ一二一	二一五	同
同	二八ノ一二二	二一六	同
同	二八ノ一二三	二一七	同
同	二八ノ一二四	二一八	同
同	二八ノ一二五	二一九	同
同	二八ノ一二六	二二〇	同
同	二八ノ一二七	二二一	同
同	二八ノ一二八	二二二	同
同	二八ノ一二九	二二三	同
同	二八ノ一三〇	二二四	同
同	二八ノ一三一	二二五	同
同	二八ノ一三二	二二六	同
同	二八ノ一三三	二二七	同
同	二八ノ一三四	二二八	同
同	二八ノ一三五	二二九	同
同	二八ノ一三六	二三〇	同
同	二八ノ一三七	二三一	同
同	二八ノ一三八	二三二	同
同	二八ノ一三九	二三三	同
同	二八ノ一四〇	二三四	同
同	二八ノ一四一	二三五	同
同	二八ノ一四二	二三六	同
同	二八ノ一四三	二三七	同
同	二八ノ一四四	二三八	同
同	二八ノ一四五	二三九	同
同	二八ノ一四六	二四〇	同
同	二八ノ一四七	二四一	同
同	二八ノ一四八	二四二	同
同	二八ノ一四九	二四三	同
同	二八ノ一五〇	二四四	同
同	二八ノ一五一	二四五	同
同	二八ノ一五二	二四六	同
同	二八ノ一五三	二四七	同
同	二八ノ一五四	二四八	同
同	二八ノ一五五	二四九	同
同	二八ノ一五六	二五〇	同
同	二八ノ一五七	二五一	同
同	二八ノ一五八	二五二	同
同	二八ノ一五九	二五三	同
同	二八ノ一六〇	二五四	同
同	二八ノ一六一	二五五	同
同	二八ノ一六二	二五六	同
同	二八ノ一六三	二五七	同
同	二八ノ一六四	二五八	同
同	二八ノ一六五	二五九	同
同	二八ノ一六六	二六〇	同
同	二八ノ一六七	二六一	同
同	二八ノ一六八	二六二	同
同	二八ノ一六九	二六三	同
同	二八ノ一七〇	二六四	同
同	二八ノ一七一	二六五	同
同	二八ノ一七二	二六六	同
同	二八ノ一七三	二六七	同
同	二八ノ一七四	二六八	同
同	二八ノ一七五	二六九	同
同	二八ノ一七六	二七〇	同
同	二八ノ一七七	二七一	同
同	二八ノ一七八	二七二	同
同	二八ノ一七九	二七三	同
同	二八ノ一八〇	二七四	同
同	二八ノ一八一	二七五	同
同	二八ノ一八二	二七六	同
同	二八ノ一八三	二七七	同
同	二八ノ一八四	二七八	同
同	二八ノ一八五	二七九	同
同	二八ノ一八六	二八〇	同
同	二八ノ一八七	二八一	同
同	二八ノ一八八	二八二	同
同	二八ノ一八九	二八三	同
同	二八ノ一九〇	二八四	同
同	二八ノ一九一	二八五	同
同	二八ノ一九二	二八六	同
同	二八ノ一九三	二八七	同
同	二八ノ一九四	二八八	同
同	二八ノ一九五	二八九	同
同	二八ノ一九六	二九〇	同
同	二八ノ一九七	二九一	同
同	二八ノ一九八	二九二	同
同	二八ノ一九九	二九三	同
同	二八ノ二〇〇	二九四	同
同	二八ノ二〇一	二九五	同
同	二八ノ二〇二	二九六	同
同	二八ノ二〇三	二九七	同
同	二八ノ二〇四	二九八	同
同	二八ノ二〇五	二九九	同
同	二八ノ二〇六	三〇〇	同
同	二八ノ二〇七	三〇一	同
同	二八ノ二〇八	三〇二	同
同	二八ノ二〇九	三〇三	同
同	二八ノ二一〇	三〇四	同
同	二八ノ二一一	三〇五	同
同	二八ノ二一二	三〇六	同
同	二八ノ二一三	三〇七	同
同	二八ノ二一四	三〇八	同
同	二八ノ二一五	三〇九	同
同	二八ノ二一六	三一〇	同
同	二八ノ二一七	三一一	同
同	二八ノ二一八	三一二	同
同	二八ノ二一九	三一三	同
同	二八ノ二二〇	三一四	同
同	二八ノ二二一	三一五	同
同	二八ノ二二二	三一六	同
同	二八ノ二二三	三一七	同
同	二八ノ二二四	三一八	同
同	二八ノ二二五	三一九	同
同	二八ノ二二六	三二〇	同
同	二八ノ二二七	三二一	同
同	二八ノ二二八	三二二	同
同	二八ノ二二九	三二三	同
同	二八ノ二三〇	三二四	同
同	二八ノ二三一	三二五	同
同	二八ノ二三二	三二六	同
同	二八ノ二三三	三二七	同
同	二八ノ二三四	三二八	同
同	二八ノ二三五	三二九	同
同	二八ノ二三六	三三〇	同
同	二八ノ二三七	三三一	同
同	二八ノ二三八	三三二	同
同	二八ノ二三九	三三三	同
同	二八ノ二四〇	三三四	同
同	二八ノ二四一	三三五	同
同	二八ノ二四二	三三六	同
同	二八ノ二四三	三三七	同
同	二八ノ二四四	三三八	同
同	二八ノ二四五	三三九	同
同	二八ノ二四六	三四〇	同
同	二八ノ二四七	三四一	同
同	二八ノ二四八	三四二	同
同	二八ノ二四九	三四三	同
同	二八ノ二五〇	三四四	同
同	二八ノ二五一	三四五	同
同	二八ノ二五二	三四六	同
同	二八ノ二五三	三四七	同
同	二八ノ二五四	三四八	同
同	二八ノ二五五	三四九	同
同	二八ノ二五六	三五〇	同
同	二八ノ二五七	三五一	同
同	二八ノ二五八	三五二	同
同	二八ノ二五九	三五三	同
同	二八ノ二六〇	三五四	同
同	二八ノ二六一	三五五	同
同	二八ノ二六二	三五六	同
同	二八ノ二六三	三五七	同
同	二八ノ二六四	三五八	同
同	二八ノ二六五	三五九	同
同	二八ノ二六六	三六〇	同
同	二八ノ二六七	三六一	同
同	二八ノ二六八	三六二	同
同	二八ノ二六九	三六三	同
同	二八ノ二七〇	三六四	同
同	二八ノ二七一	三六五	同
同	二八ノ二七二	三六六	同
同	二八ノ二七三	三六七	同
同	二八ノ二七四	三六八	同
同	二八ノ二七五	三六九	同
同	二八ノ二七六	三七〇	同
同	二八ノ二七七	三七一	同
同	二八ノ二七八	三七二	同
同	二八ノ二七九	三七三	同
同	二八ノ二八〇	三七四	同
同	二八ノ二八一	三七五	同
同	二八ノ二八二	三七六	同
同	二八ノ二八三	三七七	同
同	二八ノ二八四	三七八	同
同	二八ノ二八五	三七九	同
同	二八ノ二八六	三八〇	同
同	二八ノ二八七	三八一	同
同	二八ノ二八八	三八二	同
同	二八ノ二八九	三八三	同
同	二八ノ二九〇	三八四	同
同	二八ノ二九一	三八五	同
同	二八ノ二九二	三八六	同
同	二八ノ二九三	三八七	同
同	二八ノ二九四	三八八	同
同	二八ノ二九五	三八九	同
同	二八ノ二九六	三九〇	同
同	二八ノ二九七	三九一	同
同	二八ノ二九八	三九二	同
同	二八ノ二九九	三九三	同
同	二八ノ三〇〇	三九四	同
同	二八ノ三〇一	三九五	同
同	二八ノ三〇二	三九六	同
同	二八ノ三〇三	三九七	同
同	二八ノ三〇四	三九八	同
同	二八ノ三〇五	三九九	同
同	二八ノ三〇六	四〇〇	同
同	二八ノ三〇七	四〇一	同
同	二八ノ三〇八	四〇二	同
同	二八ノ三〇九	四〇三	同
同	二八ノ三一〇	四〇四	同
同	二八ノ三一一	四〇五	同
同	二八ノ三一二	四〇六	同
同	二八ノ三一三	四〇七	同
同	二八ノ三一四	四〇八	同
同	二八ノ三一五	四〇九	同
同	二八ノ三一六	四一〇	同
同	二八ノ三一七	四一一	同
同	二八ノ三一八	四一二	同
同	二八ノ三一九	四一三	同
同	二八ノ三二〇	四一四	同
同	二八ノ三二一	四一五	同
同	二八ノ三二二	四一六	同
同	二八ノ三二三	四一七	同
同	二八ノ三二四	四一八	同
同	二八ノ三二五	四一九	同
同	二八ノ三二六	四二〇	同
同	二八ノ三二七	四二一	同
同	二八ノ三二八	四二二	同
同	二八ノ三二九	四二三	同
同	二八ノ三三〇	四二四	同
同	二八ノ三三一	四二五	同
同	二八ノ三三二	四二六	同
同	二八ノ三三三	四二七	同
同	二八ノ三三四	四二八	同
同	二八ノ三三五	四二九	同
同	二八ノ三三六	四三〇	同
同	二八ノ三三七	四三一	同
同	二八ノ三三八	四三二	同
同	二八ノ三三九	四三三	同
同	二八ノ三四〇	四三四	同
同	二八ノ三四一	四三五	同
同	二八ノ三四二	四三六	同
同	二八ノ三四三	四三七	同
同	二八ノ三四四	四三八	同
同	二八ノ三四五	四三九	同
同	二八ノ三四六	四四〇	同
同	二八ノ三四七	四四一	同
同	二八ノ三四八	四四二	同
同	二八ノ三四九	四四三	同
同	二八ノ三五〇	四四四	同
同	二八ノ三五一	四四五	同
同	二八ノ三五二	四四六	同
同	二八ノ三五三	四四七	同
同	二八ノ三五四	四四八	同
同	二八ノ三五五	四四九	同
同	二八ノ三五六	四五〇	同
同	二八ノ三五七	四五一	同
同	二八ノ三五八	四五二	同
同	二八ノ三五九	四五三	同
同	二八ノ三六〇	四五四	同
同	二八ノ三六一	四五五	同
同	二八ノ三六二	四五六	同
同	二八ノ三六三	四五七	同
同	二八ノ三六四	四五八	同
同	二八ノ三六五	四五九	同
同	二八ノ三六六	四六〇	同
同	二八ノ三六七	四六一	同
同	二八ノ三六八	四六二	同
同	二八ノ三六九	四六三	同
同	二八ノ三七〇	四六四	同
同	二八ノ三七一	四六五	同
同	二八ノ三七二	四六六	同
同	二八ノ三七三	四六七	同
同	二八ノ三七四	四六八	同
同	二八ノ三七五	四六九	同
同	二八ノ三七六	四七〇	同
同	二八ノ三七七	四七一	同
同	二八ノ三七八	四七二	同
同	二八ノ三七九	四七三	同
同	二八ノ三八〇	四七四	同
同	二八ノ三八一	四七五	同
同	二八ノ三八二	四七六	同
同	二八ノ三八三	四七七	同
同	二八ノ三八四	四七八	同
同	二八ノ三八五	四七九	同
同	二八ノ三八六	四八〇	同
同	二八ノ三八七	四八一	同
同	二八ノ三八八	四八二	同
同	二八ノ三八九	四八三	同
同	二八ノ三九〇	四八四	同
同	二八ノ三九一	四八五	同
同	二八ノ三九二	四八六	同
同	二八ノ三九三	四八七	同
同	二八ノ三九四	四八八	同
同	二八ノ三九五

同　岡田鹿次郎
同　市川　清吉
同　市川　安吉
同　市川美代吉
同　市川　仲吉
同　市川　淳一
同　市川太三郎
同　市川　留吉
同　市川美代吉
同　市川　留吉
同　市川　九市
同　市川　安吉
同　市川　九市
同　市川　安吉
同　市川吉五郎
同　岡田與曾吉
同　市川吉五郎
同　岡田與曾吉
同　岩瀬庄次郎
同　岡田鹿次郎
同　市川　留吉
東田　岩瀬庄次郎
同　市川傳一郎
同　岡田谷五郎
同　岩瀬好太郎
同　柴田金十郎
同　岩瀬休五郎
同　柴田金十郎
同　岩瀬幸太郎

敘任及辭令

◎大正十五年四月十五日

從六位　土橋　末雄
同　芳賀　健治
從六位勳四等　濱本　富義
同　丸山　一雄
同　高木　資雄
同　關　續
從六位勳五等　永峯　專治
同　末藏　治
從六位勳四等功五級　弓削　富吉
從六位勳四等　大場　河村源一郎
同　能美　留藏
從六位勳四等　千葉　成男
從六位勳五等　糸川　季忠
從六位勳四等　高橋　桑吉
同　恩地　藤瀬　貞市
從六位勳五等功五級　若木　元次
從六位勳四等　古田中　博
從六位勳四等　秋永　三夫
同　山下　深志
同　戸須賀千之
同　岡野　俊孝
同　淺野千之介
同　中園尾義三
同　中込　有三
同　犬塚　毅
從六位勳五等　長尾　惣助
同　中杉久治郎
從六位勳四等　檜田太市郎
同　盛　長吉
同　草鹿　任一
從六位勳五等　岸本鹿子治
同　太田　泰治
從六位勳四等　大熊　政吉
從六位勳四等功五級　柳川　敎茂
從六位勳四等　鈴木　新治
從六位勳五等　藤森清一朗
從六位勳五等　小橋　義亮
從六位勳五等功五級　三竝　貞三
從六位勳五等　北川　茂春
從六位勳四等功五級・浮田　秀彦
從六位勳五等功五級　飯倉　貞造
從六位勳四等　桑折英三郎
從六位勳五等　松永　壽雄
同　大川內傳七
同　小澤治三郎
同　中村　重一
從六位勳四等　後藤　英次
從六位勳五等　元泉　威
同　福田　均三
同　山田　滿
從六位勳四等　松木　益吉
從六位勳五等　本間　清
從六位勳四等　井上　幸吉
同　小熊　文雄
同　伊藤　公男
同　能澤　舛藏
從六位勳四等功五級　清水　長吉
從六位勳五等　鋤柄　玉造
同　宇佐美治作
同　春日　篤
從六位勳四等功五級　中村　一夫
同　工藤　泉介
從六位勳四等　國生　行孝
同　山田　省三
從六位勳五等　堀江　順平
從六位勳四等　近藤晉三郎
從六位勳五等　澤田　端
從六位勳四等　江本　誠
從六位勳五等　上原　惠道
同　加藤　孝一
從六位勳四等　大塚　清吉
同　滑川　眞平
同　雉波　豪平
同　稻田　武立
同　竹內　眞輔
從六位勳五等　田崎　義
從六位勳四等　野田　佐吉
同　櫻田　博
同　田中　尚熊
從六位勳五等　根本米次郎
從六位勳四等　鈴木　亨
同　桑久保俊次
同　時森　良穗
同　佐波　修
同　南里　昌治
同　野口猪之助
同　工藤　貞雄
從六位勳五等　赤羽　良淳
從六位勳六等　茂木　德治
從六位勳四等　梯　秀雄
從六位勳五等　有坂　亮平
從六位勳四等　玉井三之助
同　隈部富士雄
從六位勳五等　竹林　晃
從六位勳四等　渡邊　隆一
從六位勳五等　齋藤　一治
同　御所　靜
同　日尾　清
從六位勳四等功五級　德田　順一
從六位勳四等　加藤　一雄
同　宇田川祐三
同　渥美　龍夫
從六位勳五等　本田　增藏
從六位勳四等　吉用　茂雄
同　池內　又一
從六位勳五等　森　延年
從六位勳四等　中島喜代宣
同　相浦　小七
同　中田　操
從六位勳五等　鍋島　茂明
從六位勳四等　横山　秀雄
從六位勳五等　熊木　捨治
同　三田　勝
同　木村　惇
從六位勳六等　宮崎勝太郎
從六位勳四等　諏訪　務
從六位勳六等　三谷　隆信
從六位勳五等　澤木　國衛
同　宇佐美六郎
同　三神竹三郎
從六位勳六等　金　商翊
同　趙　漢昆
從六位勳五等　武田丑之助
同　藤岡　光長
同　鮫島實三郎
同　井井誠太郎
同　牧　銳夫
同　山田信一郎
同　岡田　良知
同　青山秀三郎
同　江原　萬里

同　鈴木　文助
同　三戸森確郎
從六位勳六等　坪井　啓作
從六位　市河　三祿
同　石本　堅
從六位勳六等　外岡誠太郎
正七位　中谷　竹藏
同　山縣　業一
正七位勳六等　河邊　榮養
正七位　中島　忠
正七位勳五等功五級　中牟田　基
正七位勳六等　大塚　彭雄
正七位勳五等　迫　斗藏
正七位勳六等　佐藤　勇助
正七位勳五等　森　武夫
同　仁戸田秀一
正七位勳六等　加藤　拾男
同　小川　馨
同　菰田　菊次
正七位　寺田密次郎
同　山田　恒治
正七位勳六等　村井　雅雄
正七位　具　滋觀
同　金　翼鎮
同　吳　完洙
同　姜　哲模
正七位勳六等　加茂　見治
正七位　李　楠　準
同　柳　璞
同　李　春　斗
同　李　邦協
同　武田　庸二
正七位勳六等　栗林　潛
正七位　藏石　勝
同　三宅　助一
同　德澤　得二
同　石村保三郎
同　名越邦均次郎
同　高木　八尺
同　三浦　圭三
同　石原　謙
同　川村　一水

（各通）

同　板垣　四郎
同　衣川　義雄
同　相良　守峯
同　金井嘉佐太郎
同　石橋　タカ
同　西　宣雄
同　北上　宇八
同　佐藤　七郎
同　蕨　傳
同　熊崎　兵七
同　吉野　益見
同　太田　綠郎
同　石井　信

敘從六位

◎大正十五年五月四日

鐵道局書記勳八等　西本　幸作

任鐵道局副參事

敘高等官六等

大藏政務次官　武內　作平
大藏次官　田　昌
大藏省主計局長　河田　烈
大藏省理財局長　富田勇太郎
海軍政務次官子爵　井上匡四郎
海軍次官　大角　岑生
海軍中將　吉川　安平
海軍少將　小林　躋造
海軍主計中將　永安普次郎
商工次官男爵　四條　隆英
遞信次官　桑山　鐵男
正三位勳二等功五級子爵　大久保　立
從三位勳二等男爵　伊藤　安吉
正四位勳二等　橋本圭三郎
從四位勳二等　田中　隆三
正五位勳三等　菅原　傳
正七位勳六等　原　脩次郎

補償審査會審査員被仰付

大藏書記官　川越　丈雄
海軍主計大佐　入谷　清長
同　池邊　安雄

（各通）

補償審査會幹事被仰付（以上語內閣）

海軍大尉從六位勳六等　外岡誠太郎

特旨ヲ以テ位一級進（語宮內省）

五級俸下賜

地方技師　荒池　忠吉
土木技師　平井　新六
防疫醫　松田　家治
同　亀田　郁
社會局部長　守屋　榮夫
國立感化院教諭　菊池　俊諦
陸軍騎兵少佐（以上語內務省）　小畑　英良
陸軍大學校教官　武藤　章
陸軍歩兵大尉
陸軍省）
教育總監部附被仰付（以上語
陸軍技術本部附陸軍工兵少佐　久德　知至
佛國駐在被免
陸軍技術本部附陸軍工兵少佐　風早　清
學研究所員陸軍工兵少佐
陸軍技術本部附陸軍技術本部附
陸軍技術本部附陸軍工兵少佐　風早　清
英國駐在被仰付（以上語同）
奥海軍工廠醫務部　秋田　六郎
部員海軍軍醫少佐
海軍軍醫長兼分隊長馬公要
港部部員
海軍中將　吉川　安平
海軍少將　小林　躋造
海軍主計中將　永安普次郎
商工次官男爵　四條　隆英
遞信次官　桑山　鐵男
正三位勳二等功五級子爵　大久保　立
從三位勳二等男爵　伊藤　安吉
正四位勳二等　橋本圭三郎
從四位勳二等　田中　隆三
正五位勳三等　菅原　傳
正七位勳六等　原　脩次郎

補償審査會審査員被仰付

大藏書記官　川越　丈雄
海軍主計大佐　入谷　清長
同　池邊　安雄

（各通）

補償審査會幹事被仰付（以上語內閣）

海軍大尉從六位勳六等　外岡誠太郎

特旨ヲ以テ位一級進（語宮內省）

長良運輸長兼分隊長
長海軍運輸大尉　坂根彌三次
公要港部部員海軍軍醫大尉
海軍運輸長兼分隊長
海軍運輸大尉　柿坂　猶介
從四位勳二等　橋本圭三郎
正五位勳三等　田中　隆三
正七位勳六等　菅原　傳
從三位勳二等男爵　伊藤　安吉
正四位勳二等　橋本圭三郎
從四位勳二等　田中　隆三
正五位勳三等　菅原　傳
正七位勳六等　原　脩次郎

補償審査會審査員被仰付

大藏書記官　川越　丈雄
海軍主計大佐　入谷　清長
同　池邊　安雄

（各通）

補償審査會幹事被仰付（以上語內閣）

海軍大尉從六位勳六等　外岡誠太郎

特旨ヲ以テ位一級進（語宮內省）

（各通）

同　降矢　芳郎
同　田原　淳
賜本俸二級俸　同
賜本俸三級俸　小川　政修
同　久保　健歷
同　奥田　讓
同　大島　廣
賜本俸六級俸　同
同　西　久光
同　宮崎鐵太郎
同　田邊　唯司
同　稻田　隆
同　伊藤德之助
同　岡本　勇象
同　佐藤　恒義
同　和田　正雄

（各通）

九州帝國大學助教授

本俸六級俸下賜　同
同　豊山　靜邊
本俸七級俸下賜　同
同　石山福二郎
同　谷村　潔
同　宮川　一郎
同　中村小四郎
同　長谷川清一
同　山崎　何惠

（各通）

本俸八級俸下賜　同
同　大野　六郎
同　山川強四郎
同　和栗　明
同　佐伯　功介

（各通）

本俸九級俸下賜　同
同　向井參之充
同　山田　穣

（各通）

本俸十級俸下賜　同

九州帝國大學教授

電氣工學第一講座嘱任ヲ免シ電氣工學第一講座分擔ヲ命ス　降矢　芳郎

分擔講座嘱務俸金千圓下賜

九州帝國大學助教授　雉波　幸一

電氣工學第一講座分擔ヲ命ス

分擔講座嘱務俸金弐百八拾圓下賜

七級俸下賜　新潟高等學校教授　黑田　亮

第4107号

九級俸下賜　同　竹内　長政
（答通）　公立實業學校教諭　東原信之助
清淵（出張ヲ命ス（以上[illegible]））　公立實業學校教諭　白井豐太郎
九州帝國大學教授　野中　季雄
九州帝國大學評議員ヲ命ス
京都帝國大學教授　神戸　正雄
補京都帝國大學經濟學部長
職務俸金六百弐拾圓下賜　同　河田　嗣郎
依願京都帝國大學經濟學部長ヲ免ス（以上[illegible]同）
文部技師　柴垣鼎太郎
長岡、高岡、金澤、松江ノ四市（出張ヲ命ス
東京帝國大學助教授　野口　尚一
實驗工學講座分擔ヲ免ス
東北帝國大學教授　山川章太郎
東北帝國大學評議員ヲ命ス
岡山醫科大學教授　鈴木　檢
補岡山醫科大學學生監
職務俸金千弐百圓下賜　同　田村　於兎
依願岡山醫科大學學生監ヲ免ス
職務俸金千圓下賜　第一高等學校教授　立澤　剛
六級俸下賜　同　内藤　濯
七級俸下賜　公立中學校教諭　大國　助重
愛知縣明倫中學校教諭ニ補ス
東北帝國大學教授　阿部　次郎
東北帝國大學評議員ヲ命ス
長崎醫科大學教授　赤松　宗二
本俸七級俸下賜　同　勝矢　俊一
本俸八級俸下賜　廣島高等工業學校教授　窪田格太郎
（答通）　同　西山　福治
六級俸下賜　同　園田　忍
八級俸下賜　長崎醫科大學教授　清水　由隆
賜本俸二級俸　公立大學教授　桐原　眞一
愛知醫科大學教授ニ補ス

長崎縣立對馬中學校教諭ニ補ス（以上[illegible]同）　公立中學校教諭　林田　荒雄
二級俸下賜　農林技師　小平　權一
農務局勤務ヲ命ス
農務局勤務ヲ命ス　農林書記官　小平　權一
地方農林技師　星　千里
石川縣農林技師ニ補ス
同　菊地平四郎
和歌山縣農林技師ニ補ス（以上[illegible]農林省）
商工事務官　石津　武彥
德島縣農會主催第一回共同出荷組合事蹟共進會審査長ヲ命ス（[illegible]商工省）
逓信技師　杉江　吉治
大阪逓信局區內ヘ出張ヲ命ス（[illegible]逓信省）
逓信局技師　茂木喜一郎
私設無線電信通信從事者資格檢定委員ヲ命ス（[illegible]同）
逓信技師　半田　光久
（答通）　同　奥山　貞一
同　叶　重松
東京逓信局區內（出張ヲ命ス（[illegible]同））　逓信技師　井上　要
（答通）　同　德永　格
東京逓信局區內（出張ヲ命ス（[illegible]同））
樺太廳警視　森本　節躬
警察部警務課勤務ヲ命ス（[illegible]樺太廳）
四級俸下賜　公立中學校教諭　橋本　又作
公立高等女學校教諭　北浦　ミツ
七級俸下賜（以上[illegible]北海道廳）
五級俸下賜（[illegible]高根縣）　公立實業學校長兼
公立實業學校教諭　加納　友市
七級俸下賜（[illegible]同）　公立實業學校教諭　依口　丹作
六級俸下賜（[illegible]同）　師範學校教諭　三木英太郎
大正十五年三月十四日ヨリ年功加俸年額百五十六圓下賜（[illegible]同）
公立中學校教諭　早川三次郎
（答通）　師範學校教諭　片寄卯三郎
同　石田　春昭
大正十五年三月三十一日ヨリ年功加俸年額百五十六圓下賜

大正十五年四月一日ヨリ年功加俸年額百五十六圓下賜（以上[illegible]同）　公立中學校教諭　吉田　武夫
四級俸下賜（[illegible]圓山縣）　同　星賀　正次
六級俸當分千下賜（[illegible]同）　社會教育主事　千輪　清海
八級俸下賜（[illegible]同）　公立高等女學校長兼
四級俸下賜　公立高等女學校教授　妹尾　盛親
五級俸下賜　公立實業學校長兼
公立實業學校教諭　野田　一
六級俸下賜　公立中學校長兼
公立中學校教諭　和氣　昌郎
七級俸下賜　武店　魁助
公立高等女學校長兼
公立高等女學校教諭　田野口竹二
同　公立高等女學校長　淺尾儀一郎
（答通）　公立高等女學校長兼
公立實業學校長兼
公立實業學校教諭　赤木　雅二
八級俸下賜　師範學校教諭　江見　豊治
五級俸當分弐千百圓下賜　同　鈴木不二雄
公立中學校教諭　谷　正雄
同　公立高等女學校教諭　三宅代五郎
同　橋崎　操一
公立高等女學校教諭　村田平三郎
同　萩原　セシ
六級俸下賜　公立中學校教諭　福山　恒治
六級俸當分千九百四拾圓下賜　同　高橋　碧
（答通）　同　湯淺　勝造
六級俸百弐拾圓下賜　師範學校教諭　永山卯三郎
同　山崎英次郎
（答通）　同　笠原　節二
公立中學校教諭　水池粮四郎

六級俸當分千八百六拾圓下賜　公立中學校教諭　大森鐵二郎
七級俸下賜　公立高等女學校教諭　井口　完吾
（答通）　師範學校教諭　國塩　昌躬
公立實業學校教諭
七級俸當分千七百六拾圓下賜　公立高等女學校教諭　平松　菊郎
（答通）　同　小館　軍三
公立高等女學校教諭　林　賴治
七級俸當分千七百四拾圓下賜　公立中學校教諭　武本寅五郎
（答通）　同　影山　潔
同　畑川　克哉
公立實業學校教諭　松本　隆文
七級俸下賜　七百圓下賜　公立實業學校教諭　大森鐵二郎
七級俸當分千六百六拾圓下賜　公立高等女學校教諭　淺野　章吾
七級俸百八拾圓下賜　公立中學校教諭兼
公立高等女學校教諭　公　人見茂三郎
七級俸當分千六百六拾圓下賜（岡山縣勝山中學校千四百
岡山縣勝山高等女學校武
百四拾圓）　公立高等女學校教諭　花田芳太郎
（答通）　同　佐藤　長雅
八級俸下賜　同　親置　觀信
八級俸當分千五百六拾圓下賜　同　金平　福雄
八級俸當分千百五拾圓下賜　同　築澤芳太郎
九級俸當分千參百五拾圓下賜　公立高等女學校長兼
（答通）　公立高等女學校教諭　市村　豊
九級俸下賜（以上[illegible]同）　公立高等女學校長　塩見　東八
八級俸下賜　公立中學校教諭　高木　茂夫
六級俸下賜　公立高等女學校長兼
九級俸下賜　公立高等女學校教諭　松岡　佐平

八級俸當分千五百下賜（以上[illegible]同）　公立實業學校長兼
六級俸下賜（[illegible]同）　公立實業學校教諭　下村莞太郎
（答通）　公立中學校教諭　岡　繁太郎
七級俸當分千五百五拾圓下賜（[illegible]廣島縣）　渡邊　三郎
同　同
四級俸下賜　公立實業學校長　寺田　善吉
公立高等女學校長　糸賀國次郎
年俸參百圓下賜　國枝　壯孚
六級俸下賜　同　甲藤　義治
八級俸下賜（以上[illegible]高知縣）　公立實業學校教諭　柏　共造
六級俸當分千八百下賜　原田富三郎
八十四圓
七級俸當分千七百下賜　同　清源　均
三十四圓
七級俸當分千七百下賜（以上[illegible]大分縣）
百四圓　同　公立中學校教諭　進來　重松
七級俸當分千七百四十圓下賜　公立中學校教諭　吉田　祥朔
加俸年額六十圓下賜（以上[illegible]同）　同　高田　テツ
公立高等女學校長　挾間　俊雄
公立學校職員年功加俸令第一條ニ依リ大正十五年三月十一日ヨリ年功加俸年額百五十六圓下賜
師範學校教諭　熊本　隆治
公立學校職員年功加俸令第一條ニ依リ大正十五年四月一日ヨリ年功加俸年額百八圓下賜（以上[illegible]同）
公立實業學校教諭　小野　速
公立學校職員年功加俸令第一條ニ依リ大正十五年四月十四日ヨリ年功加俸年額百三十二圓下賜
公立高等女學校教諭　武智秀次郎
公立學校職員年功加俸令第一條ニ依リ大正十五年四月六日ヨリ年功加俸年額百三十二圓下賜（以上[illegible]同）
公立實業學校長　金馬　茂
六級俸下賜（[illegible]同）　公立實業學校教諭　久恒　新
公立學校職員年功加俸令第一條ニ依リ大正十五年三月十日ヨリ年功加俸年額百五十六圓下賜
（答通）　公立高等女學校教諭　吉田　祥朔
同　高田　テツ
公立學校職員年功加俸令第一條ニ依リ大正十五年四月一日ヨリ年功加俸年額百三十二圓下賜（以上[illegible]同）
公立高等女學校教諭　立山　陽造
大正十五年三月三十一日ヨリ年功加俸年額百二十圓下賜（[illegible]宮崎縣）

正誤

去月三十日本欄七六二頁四段野村幸由ノ辭令文中「年俸千圓下賜」ノ一行ハ衍（報告誤）
昨四日同七一頁四段西森猷太郎ノ上歐洲ヘ出張ヲ命ス」ノ八字ハ前行人間野武雄ノ辭令文ト爲ルヘキノ誤植

宮廷錄事

◎拜謁　今般英國ヘ出張ノ松井特命全權大使夫人ハ一昨三日午前十一時　皇后陛下ニ拜謁仰付ケラレタリ
同日午後一時三十分左記ノ通　攝政殿下ニ拜謁仰付ケラレタリ
今般司法官會同ノタメ參列ノ山口地方裁判所長多田常太郎外四十六名
今般高等師範學校長竝ニ商業專門學校長會議ニ參列ノ村上東京音樂學校長外二十二名
◎王族公族御服喪　大勳位李王殿下去月二十六日薨去ニ付左ノ通喪ヲ服セラル
李王垠殿下　一年
同妃方子女王殿下　百五十日
故李王妃殿下　一年
李堈公殿下　九十日
李鍵公殿下　九十日

彙報

○官廳事項

◎官吏改姓名　後備役陸軍步兵少尉香川文水ハ昨十四年十一月二十七日宍戸ト、豫備役同砲兵少尉原田泰吉郎ハ同九月十五日尾關ト、同三等主計光成秋雄ハ同十二月十二日土井ト同步兵少尉末村金治ハ本年二月十五日田口ト、同小關玉蕊ハ同三月二日飯塚ト同小林孝夫ハ同二月六日水田ト、同中野喜平ハ去月六日藤田ト改姓シ同砲兵少尉越智龜三ハ同九日了祐ト、後備役同工兵少尉藤井邦太郎ハ同十日伊右衛門ト改名セリ
◎轉任　京都府京都市第三高等小學校長河村秀雄ハ去月二十一日京都府京都市朱雀第一尋常高等小學校長ニ轉任ヲ命セラレタリ
◎昇給　樺太廳通信書記土田鐵一ハ去月二十三日一級俸ニ昇給セリ
◎退職　鶴亀縣伊達郡保原尋常高等小學校長荒井温ハ去月二十七日、石川縣河北郡津幡尋常高等小學校長澤村成太郎ハ同二十八日執モ願ニ依リ退職ヲ命セラレタリ
◎官吏卒去及死去　朝鮮總督府中樞院參議正五位勳四等鄭鎖弘ハ同十六日執モ卒去シ豫備役陸軍步兵大尉正七位勳六等大島秋豊ハ昨十四年十月二十一日、同少尉正八位中村明重ハ本年二月二十日同大尉正六位勳五等久米安太郎ハ同三月五日、後備役同中尉正八位勳六等精谷大脩ハ同十日、豫備役同三等軍醫正八位勳六等清水同十六日、同砲兵少尉正八位佐藤多三郎ハ去月六日、海軍少尉候補生白鳥一衛ハ同二十日、第三高等學校教授從六位高階晉三ハ同二十九日執モ死去セリ
◎教職死去　公立實業學校教諭從六位小本音次郎ハ去月二十三日、公立中學校教諭從六位藤田重政ハ同二十六日執モ死去セリ

司法及警察

◎死刑執行　靜岡縣富士郡田子浦村長島茂ハ强盜殺人ノ罪ニ付昨十四年三月三十日東京控訴院ニ於テ死刑ノ宣告ヲ受ケ同年六月十二日確定シタル處去月三十日執行セラレタリ
◎豫約出版屆出　豫約出版法ニ依リ去月二十六日書籍商ハ豫約出版ヲ屆出テタルモノ左ノ如シ

題號　小泉八雲全集
著作者　小泉八雲
發行者　長谷川巳之吉
發行所　東京市芝區下高輪町二番地第一書房
著手年月日　大正十五年五月六日
◎豫約出版屆行　本年二月十三日倉橋藤治郎ヨリ警視廳ヘ屆出テタル「輸送機編」ノ豫約出版ハ之ヲ屆行シタル旨申出テタリ

○陸海軍

◎後備役編入　去月一日豫備役陸軍將校同相當官ノ後備役ヲ命ジタル者左ノ如シ（陸軍省）

陸軍大將　柴　五郎
同　境野竹之進
陸軍少將　木田伊之助
同　古木秀太郎
陸軍大尉　鈴木　平
陸軍步兵少尉　井上　元成
陸軍步兵中尉　鳥山　清吾
同　陸軍步兵大尉　原田　清治
同　陸軍步兵中佐　中川　信一
同　三五　寅吉
同　鈴木留三郎
同　陸軍步兵少佐　水野　綱吉
同　鈴野丑太郎
同　陸軍步兵大尉　齋藤仙八郎
同　駒形　治衛
同　陸軍步兵中尉　片桐綱三郎
同　會根　勇治
同　陸軍步兵少尉　桂　恕德
同　和泉　武夫
同　陸軍步兵中尉　佐々木長惣
同　伊藤仙三郎
同　同　坂井　豊敏
同　槌川　乃武
同　須田　廣
同　同　深澤　操
同　青山　勇
同　同　阿子島八郎
同　菊地　朝治
同　信濃　清一
同　池田　東司
同　同　秋野龜太郎
同　山崎　元介
同　同　佐藤正作
同　桝潟吉次郎
同　同　富野甚之助
同　稲垣源太郎
同　同　中川　留吉
同　工藤德之助
同　同　豊次　太竹　知章
同　三浦　同　同　田中　寛一
同　畠山　福松　同　同　小柳　善吉
同　神谷　一郎　同　同　田中　正一
同　中山　一郎　同　同　濱野　榜成
同　佐藤　平七　同　同　山崎郁太郎
同　佐藤　辰彌　同　同　新妻　一郎
同　片寄　政愈　同　同　富樫　雅秀
同　吉田爲之進　同　同　畔野　重政
同　森　毅　同　同　滝口　多藏

第4107号

同　山内　岳藏
同　佐々木英一
同　新城　榮一
同　長谷川源清
同　野崎　謙一
陸軍騎兵大尉　加藤綱右衛門
同　梅宮辰次郎
同　今井　忠利
同　相田　義松
同　武藤　孝吉
同　井上　俊英
同　久保太茂利
同　村上丑大郎
同　松山　良純
同　相田　義松
同　武藤　孝吉
同　井上　俊英
同　久保太茂利
同　村上丑大郎
同　若杉徐五郎
同　相田甲午郎
同　保科甚一郎
同　高野　實衛
同　松山利石衛門
同　佐藤　公平
同　井田　瑞春
同　保科甚一郎
同　高野　實衛
同　若杉徐五郎
同　相田甲午郎
同　齋藤　嚴治
同　長谷川眞作

陸軍騎兵少尉　梅宮辰次郎
同　石黒　宇宙
同　遠藤　宗治
同　八嶋千代治
同　橋山　統治
同　井山　新吉
同　三浦　武光
同　千葉友治郎
陸軍工兵少尉　小野寺正人
同　砂澤　弼平
同　荊本由太郎
同　宗兵少尉　小林九之七
陸軍輜重兵中尉　村上爲太郎
同　森谷菊治郎
同　相澤　政吉
同　食澤　昂太
同　蛭田　喜一
同　中島研太郎
同　松本　源吉
同　早坂市太郎
同　鈴木　昇
同　關川　虎藏
同　佐藤敬次郎
同　石橋　正德
同　遠藤　道孝
陸軍騎兵少尉　今井　忠利
陸軍輜重兵少尉　遠藤　清藏
陸軍砲兵大尉　川島　恭佐
同　小島　甕
同　佐藤　忠助
同　金澤　詢
陸軍工兵大佐　小出東次郎
同　小林勝一郎
同　長谷川桂一
同　矢吹　力
陸軍輜重兵大尉　河鰭義三郎
陸軍輜重兵少尉　和泉　綏
同　橋本清十郎
同　大和　榮三
同　小川喜治郎
同　木野角五郎
同　吉武　賢壽
同　鈴木　昇
同　關川　虎藏
同　佐藤敬次郎
同　石橋　正德
同　遠藤　道孝
同　佐藤　公平
同　井田　瑞春
同　保科甚一郎
同　高野　實衛
同　若杉徐五郎
同　相田甲午郎
同　齋藤　嚴治
同　長谷川眞作

陸軍騎兵少尉　梅宮辰次郎
同　今井　忠利
同　遠藤　清藏
同　宮村　弦治
同　今村　文正
同　吉良幸太郎
◎退役編入　去月一日後備役陸軍將校同相當官ノ退役ヲ爲リタル者左ノ如シ（陸軍省）
陸軍歩兵大尉　鄰木　榮八
同　齋藤　安治
陸軍歩兵中尉　鈴木　秋理
同　鈴木　盛
同　熊坂金四郎
同　高橋　春記
陸軍歩兵少尉　波邊惠和太郎
同　小島　榮七
同　山口殺一郎
同　鈴木郁三郎
同　渡邊　五六
同　清野　春吉
同　阿部　基
同　深井　留吉
同　森　昌平
同　知野　孝宗
同　田崎　弘一
同　川井　權六
同　保坂　泰藏
同　新保　家久
同　佐々木兵藏
同　赤村　剛仁
同　相田清五郎
同　中野　均
同　萩田　末藏
同　阿部　義光
同　山岡　長則
同　佐藤　義美
同　井田　瑞春
同　保科甚一郎
同　高野　實衛
同　若杉徐五郎
同　相田甲午郎
同　齋藤　嚴治
同　長谷川眞作
同　高橋　甲次
同　小幡　三藏
同　高橋　甲次
同　藤原　大吉
同　東海林安治

○學事

◎學位授與　九州帝國大學ニ於テ去月三十日長野縣伊那郡武山定雄、佐賀縣木下友敬、愛媛縣伊藤應隆ニ對シ博士學位ヲ授與セリ（文部省）

◎講師囑託並解囑　京都帝國大學ニ於テ去ノ通講師ヲ囑託又ハ解囑セリ（文部省）

法學部講師囑託
來學年間醫學部講師囑託
同　來學年間本學工學部講師囑託
同　來學年間農學部講師囑託
同　工學部講師囑託
理學部講師囑託
來學年間經濟學部講師囑託
同　來學年間文學部講師囑託
同　醫學部講師囑託
文學部講師解囑
同　文學部講師囑託
同　東京商科大學教授
講師解囑
同　文學部講師　フランク、エー、ロムバード
同　日野　眞澄
同　大熊　伸
同　馬場　常太
同　阿部　喜一
同　高野貞治郎
同　本間郁太郎
同　市川謙太郎
同　木戸　順平
同　小林　榮作
同　大崎喜八郎
同　佐藤　慶緑
同　中島　秀隆
同　安達　亀吉
同　千葉　嵐夫
同　木村　義雄
同　永澤　清治
同　凌　時幹
同　氏家　助藏
同　櫻中　剛壽
同　遠藤　正司
同　戸田　友直
同　東京帝國大學　東京商科大學
同　東京帝國大學　東京商科大學
同　東京帝國大學　東京商科大學

獨語部第一學年
秋山　照二　青木　大郎　青山　礼三
浅井　千別　鹿　保孝　笠原　辰次
平田藤次郎　人見　道夫　堀越　敢
井上　忠一　井上　宮久　井上　宣雄
伊藤　二郎　伊藤　義雄　香川　重信
泉　正男　川崎　庸之　神谷　金剛
笠原　正雄　加藤　拓雄　紀本参太郎
川村　克巳　近藤吉次郎　工藤秀二郎
岸　聖子　幸雄　松元　政雄　美若　明治
水地　滿穂　森　清　森村　克巳
茂木　進　村上　宗雄　村山　勝司
中嶋　四郎　中島　唯一　中山　巌
野口源三郎　小川　四郎　岡崎日出士
大塚三七雄　斎藤　茂　坂口　勇造
鈴木　俊雄　大原　彦一　田尻　彦幸
高木　眞介　高羽　義治　高橋　定男
田澤嘉一郎　鳥谷　稔　上田　光躬
海根　正男　山田　正雄　山口　次郎
山川　壽代　山崎　章　米山　廣勝
吉田　五郎

獨語部第二學年
青山　猛　小林　次男　日下部武雄
松本道比古
三浦萬次郎

露語部第一學年
雨野　仁　雨夜　辰巳　荒井　豊吉
朴　大鎬　遠藤佐一郎　原　涉
廣島德四郎　伊東六十次郎　松原　之三
松井　謙　森　佐一　森田　丈市
村上　三治　村木　豪猛　武藤　友直
永谷　常隆　中山信一郎　野崎　義夫
岡内　順三　大村　吾一　大月　源二
迫山　順一郎　佐藤　忠雄　柴崎　薫
重城　靖夫　志村　彰　高橋　康順
渡邊　幸夫　山内金太郎　鍬取　滿常

西語部第一學年
福澤　定和　波多野一郎　今井　修一
岩下　重信　影山　德七　勝部　晴平
小林　重光　小久保丈夫　近藤　正雄
古谷野好郎　松崎　浩　宮本恒次郎
宮崎　有恒　森川　義規　村社　保倫
大井甲子治　高橋　清一　豊田　乙夫
積田　三郎　山口　光雄　谷中　廣美
安富　客雄
支那語部第一學年
赤嶋　唯二　秋山直太郎　蘆澤駿之助

畑川　暁武　石井　軍治　片桐榮一郎
窪田　紳雄　丸木　一郎　倶野　八男
松永　吉平　目加田　誠　宮本　豊
中川　金雄　野村　藤壽　奥野信太郎
田端芳太郎　高山　藤元　宇佐美英雄
山口　隆一　山崎　誠　吉野　機一
吉野　芳三
速成科
伊語部
早川三代治　異　河潤
川口武一郎　前田　資　石本　久治
宮本重兵衛　小野寺勝男　牧野　芳夫
菅原長五郎　吉利　荒夫
葡語部
長谷川重虎　伊藤　勇　神坂　章一
十川　計一　竹原　博之　谷本　榮
渡邊　穀雄
蘭語（馬來語部）
有坂左人治　蕚澤　輝男　樊手　國廣
平野　恩造　堀　七郎　岩生　成一
川崎　秀一　中島　清夫　志村　春久
武見　芳二
英吉語部
橘川　昌吉　岸本農武郎　森　知虎
西川　勇

臺灣總督府醫學專門學校（此名ハ口ハ廢ス以後入學）
井川　浩　×稻葉　政雄　馬　家和
西山　和義　陳　錦章　陳　麗水
陳　戊　張　天啓　張　茂山
劉　聯　林　秀標　林　清安
林　其全　林　麗水　林　世香
李　慶牛　李　天德　李　大國
大木不二彦　王　友樹　兼城　昌賀
×萱島　一男　×神田　強　郭　文品
郭　天經　何　開治　何　清波
簡　清霧　簡　錫川　頭　總輝
葉　炳輝　×葉　南輝
×米永　義光　仲濱　政信
葉　河　葉　蘇振輝　黒田　俊治
成寛　矢　來成　前田　吾六
山上　晃茂　×山城　里在　福田　榮
×松清　哲夫　×松木　伯男　黄　秋
小林金次郎　黄　娘桔　黄　兆
吳　鴨飛　吳　欽炳　洪　漢
頼　梭　齊藤　一郎　邱　雲福
湯川　繁　清水　正　烏袋　常雄
謝　麒麟　施　永連
蕭　冬平　周　再郎　趙　文王
蕭　玉階

◎卒業及得業證書授與　東京帝國大學農學部ニ於テ本年三月三十日農學、林學、獸醫學各實科卒業證書授與式ヲ擧行セリ其卒業生ノ氏名北海道帝國大學ニ於テ農學部各實科、附屬土木專門部、同水產專門部卒業生ニ對シ同三十一日卒業證書ヲ授與セリ其氏名、盛岡高等農林學校ニ於テ追試驗施行ノ上去月二十三日得業證書ヲ授與シタル者ノ氏名和歌山高等商業學校ニ於テ本年三月二十五日、熊本高等工業學校ニ於テ同二十八日孰モ卒業證書ヲ授與シタル者ノ氏名左ノ如シ（文部省）

◎東京帝國大學農學部
農學實科
飯島連次郎　家田　行義
乾　悌二　江口　俊助　石川　茂喜
大須賀利清　大堀喜久男　江口　武男
川崎　司郎　木村　好秋　金子孝次郎
吉良　芳夫　工藤　正人　北川　嘉一
古屋敷克郎　向後　省三　小關　文吉
佐々木正雄　坂田　乾二　佐久間亀廣
高野　欽一　高山　義夫　宋　增榮
張　勛　津村　武兵　竹内　東助
西河　友一　長谷山四郎　津留崎　鎮
濟島　潤三　林　傳平　波多野　進
樋口　昌夫　溪井慶彌司　原川　辰男
藤巻傳之亟　松平　正明　伏島　英二
三井　康一　村野　誠治　三浦　勇雄
八名　正夫　柳木龍三郎　明石　億
山根　芳雄　山本　安治　山下於菟丸
李　宅　龍　劉　温克　柿木　茂
若林　專精　和田　幸雄
林學實科
阿武　良馬　有馬眞雄郎　伊集院辰三
伊藤　祐義　市川　正　市原弥太郎
内田三代次　大塚　市十　岡田　通
川又　文治　小堀　卓　小松　雄二
小宮山辰也　大澤英一郎　典勝　誠
佐藤　武　古澤英一郎　庄司　三郎
郷　則　榮　佐藤　安平　住田芳太郎
土屋今朝治　菅谷　貫一　中島　主一
長友　清　鶴巻　久　早川　政雄
原田　保之　子上　壽一　別所　久雄
細窪　友雄　豊後　善作　米村　麟兒
渡邊　喜作　前田　長久

獸醫學實科
井草　正　井上　線郎　一色於兎四郎
魚住　正　尾尻　義雄　音淵　百人
河口　辰雄　金　昌鍾　葛原　貫一
熊谷　金治　小松　一清　佐治正次郎
斯波　正充　篠永節二郎　杉田　喜作
趙　怡　淵　出原傳之助　當眞　闘松
蛭田　孝虎　星　修三　三島　一郎
村田　忠明　村田　初一　湯浅　靜
六島　剛　和田　忠雄

◎北海道帝國大學（氏名ハBC順）
農學部
農學實科
荒木　斯郎　原口　四郎
赤羽　敬二　石井　惟信　亀井　惟信
平井　平　川上　和夫　北市　喜義
加藤　要　村上　貞　村瀬　吉
松元　盛次　中島　喜文　大野　一月
瀬尾　春雄　瀬戸　太平　高橋　長雄
永井卯太郎　高崎織之助　寺田　廣
高橋　由友　山田　慶二　于　巨
矢口　道愛　川
杜　子　秀
林學實科
藤田　一雄　伊藤　源作　片野　政吉
來生　慶助　近田　正喜　慈野　一郎
上月源太郎　三浦　敬三　森　勇武
西川原淡吉　西澤　政則　乳井　晟邊
織田　虎男　瀧　坂田藤五郎
會良中清作　須田　忠次　高橋　隆夫
高木　恒夫　竹内　俊平　田中　英夫
邵　德　韓　邵　均　許　子備
劉　棟
附屬土木專門部
秋山　賴一　美藤　三郎
船木　義松　五井　辰雄　江尻　唯一
神戸　浩　菅野　秀夫　堀川　力
小林千代雄　松井　勝利　川島　善弐
湯田　次雄　森川　秀雄　三島　武
小川　順一　岡本　增成　西　滋
小山他二男　齊藤　秀雄　大住　徹
七條　雅男　内田　守　佐藤　守
辻　宏　高松　篤一　武内　一夫
山田　謙　渡部　義雄　渡會　吉郎
附屬水產專門部
漁撈科
川崎　穀一　立花　正典
津崎　正男　横江　良兼　高梨　音吉
王　依東

養蚕科
青木享太郎　仲　赤男　畑　久三
本田　清　川越　良人　中林孝二郎
大島　義市　田村　正　山本　信
保田　敏雄　矢澤　喜義
製造科
赤間　重次　海老澤今治
井上茂尾三　伊藤　千秋　平川　健三
宮田　三郎　越智　通秋　前田　哲男
高橋半次郎　高橋　宗介　里館　健吉
劉　福　昌　高岡　次郎
◎盛岡高等農林學校
農藝化學科　伊藤　貞助
林學科　村上末二郎

●和歌山高等商業學校
上田　正愛　柏本　俊一　阪口藍四郎
森田　隆平　高井　盛藏　土橋　春雄
米田　義次　渡邊　奇敏
●熊本高等工業學校
機械工學科　而高　喜弘

○產業
◎奬勵金交付　優良農具普及奬勵規則ニ依リ大正十五年度ニ於テ左ノ通奬勵金ヲ交付スル旨一昨三日指令セリ（農林省）

北海道	道府縣	一規則第二條第一號ノ奬勵金	七〇〇〇
		同條第二號ノ奬勵金	八〇〇〇

◎家畜傳染病　大正十五年二月中ニ於ケル家畜傳染病ノ發生及ビ輸送頭數左ノ如シ（農林省）

府縣	炭疽 發生	炭疽 斃死	炭疽 殺	炭疽 快復	氣腫疽 發生	氣腫疽 斃死	氣腫疽 殺	氣腫疽 快復	牛傳染性肋膜肺炎 發生	牛傳染性肋膜肺炎 斃死	牛傳染性肋膜肺炎 殺	牛傳染性肋膜肺炎 快復	犬病 發生	犬病 斃死	犬病 殺	犬病 快復
茨城																
群馬																
埼玉																
千葉																
東京																
神奈川																
石川																
長野																
静岡																
愛知																
三重																
京都																
兵庫																
奈良																
和歌山																
鳥取																
島根																
岡山																
廣島																
山口																
愛媛																
高知																
福岡																
佐賀																
長崎																
熊本																
大分																
宮崎																
鹿兒島																
沖繩																
計																
累計																
前年同月																
マテノ累計																

府縣	豚虎列刺 發生	豚虎列刺 斃死	豚虎列刺 殺	豚虎列刺 快復	豚疫 發生	豚疫 斃死	豚疫 殺	豚疫 快復	豚丹毒 發生	豚丹毒 斃死	豚丹毒 殺	豚丹毒 快復	家禽虎列刺 發生	家禽虎列刺 斃死	家禽虎列刺 殺	家禽虎列刺 快復
茨城																
群馬																
埼玉																
千葉																
東京																
神奈川																
石川																
長野																
静岡																
愛知																
三重																
京都																
兵庫																
奈良																
和歌山																
鳥取																
島根																
岡山																
廣島																
山口																
愛媛																
高知																
福岡																
佐賀																
長崎																
熊本																
大分																
宮崎																
鹿兒島																
沖繩																
計																
累計																
前年同月																
マテノ累計																

第4107号

⑮鑛業事項

鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（商工省）

試掘願許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日
新潟九、〇三〇	南蒲原郡中之島村、古志郡黑條村、新組村	石油	九二二、一九〇坪	長岡市大工町　鈴村　柴太郎	十五年三一
同　九、〇三一	中蒲原郡川内村	金、銀、銅	八〇六、五〇〇	東京府豐多摩郡中野町　石川　藤吉	三、二
同　九、〇三二	刈羽郡高柳村	石油	三三九、八八四	東京市麹町區八重洲町	三、三
岐阜二、六四五	益田郡川西村	銀、銅、鉛、亞鉛	三〇七、九四〇	久原鑛業株式會社	三、四
群馬一、一二九	勢多郡北橋村、橫野村	金、銀、銅	八五八、二〇〇	東京市芝區田町　鈴木　紋次郎	三、一
新潟九、〇三三	南蒲原郡大崎村、長潟村、本成寺村、大面村	石油	三八七、五二〇	名古屋市中區南長已町　伊藤　忠孝	三、一
長野一、七五四	北安曇郡神城村、美麻村、北城村	同	八六〇、三〇〇	京都市上京區表筮夫町　金子鑛業株式會社	三、一六
同　一、七五五	上水內郡淺川村	同	一七〇、九〇〇	神奈川縣足柄下郡小田原町　小林　德二郎	三、一八
栃木一、九五六	上都賀郡、永野村、安蘇郡米室村	滿俺	八一八、三三一	長野縣上水內郡淺川村　西澤　一原治	外一人
靜岡一、六八一	安倍郡梅ケ島村	金、銀	五七二、〇〇〇	東京市小石川區駕籠町　一條　榮之助	三、一八
群馬一、一三〇	吾妻郡澤田村	金、銀、銅、鐵、亞鉛	九六五七〇〇	東京府荏原郡平塚村　石井　俊平	三、一八
新潟九、〇三四	北蒲原郡赤谷村	石炭	二五三、五六四	栃木縣上都賀郡粕尾村　齋藤　專一郎	三、一三
同　九、〇三五	同	同	三五九、七二〇	同	三、一三
同	同郡笹岡村、神山村	石油	一六五八〇〇	東京市麹町區內幸町	三、一三
長野一、七五六	上水內郡信濃尻村	同	八一三、一五〇	明治石油株式會社	三、一三
同　一、七五七	小縣郡、富士山村、蓼田村、上田市	石炭	六七一、七〇〇	岡山縣御津郡白石村　大賀　應一	三、一三
栃木一、九五七	上都賀郡落合村	金、銀、銅、滿俺	二五七、六五五	東京市小石川區雜司ケ谷町　增田　甚二郎	外二人
靜岡一、六八二	田方郡田中村、北狩野村	金、銀、銅	三四四、二二五	栃木縣河內郡城山村　齋藤　要八	外一人
茨城一、二四一	多賀郡黑前村、梯形村	金、銀、銅、重石	四八七、七七〇	神奈川縣足柄下郡小田原町　根岸　貞治	外二人
新潟九、〇三七	北魚沼郡吉谷村、刈羽郡上小國村	石油	六六五、九六九	東京市麹町區有樂町　大日本石油鑛業株式會社	三、一三
愛知　八二七	愛知郡天白村、日進村、猪高村	石炭	五七五、〇〇〇	名古屋市東區中市場町　蜂須賀光次郎	三、一三
群馬一、一三一	利根郡片品村	金、銀	四四七、六八五	群馬縣利根郡沼田町　金子　弥四郎	三、一六
岐阜二、六四六	大野郡白川村	金、銀、銅、水鉛	九二四、二四〇	東京市小石川區久堅町　落合　民助	三、一六
愛知　八二八	東加茂郡賀茂村	金、銀	一六九、六〇〇	愛知縣南設樂郡千郷村　夏目　泰治	三、二六
長野一、七五八	東筑摩郡會田村、本城村、中川村	石炭	三八八、八八〇	長野縣諏訪郡下諏訪町　堀澤	三、二九
宮城一、七〇一	本吉郡御嶽村	金、銀	二五七、〇〇〇	宮城縣本吉郡御嶽村　千葉　直九郎	三、一
秋田七、七四七	由利郡矢島町	石油	七三八、〇〇〇	東京府北豐島郡滝野川町　島山　真治	外一人
福島四、四七三	安達郡高川村	金、銀	三一三、五〇〇	福島縣安達郡高川村　一ノ瀨　源十	外
同　四、四四七	同郡岩根村、高川村、玉井村	同	九一四、九〇〇	東京市麹町區八重洲町一丁目　久原鑛業株式會社	三、一
岩手三、七九五	下閉伊郡普代村、田野畑村	滿俺	一七九、六〇〇	同	三、一
秋田七、七四八	南秋田郡上新城村、金足村	石油	四五〇、〇〇〇	同市同區有樂町一丁目　垣石油株式會社	三、一
山形四、二一五	最上郡大蔵村	同	九五四、三〇〇	同	三、一
秋田七、七四九	山本郡上岩川村、南秋田郡內川村	同	九三四、二〇〇	秋田縣南秋田郡土崎港町　金子　鳥吉	外二人
山形四、二一六	西田川郡加茂町、大山町、上郷村	同	九五六、九四〇	山形市七日町　武田　定治	三、一
同　四、二一七	最上郡豐田村	同	九一〇、一〇〇	東京市麹町區有樂町一丁目　日本石油株式會社	三、一
同　四、二一八	同郡眞室川村、豐里村	同	八六四、七〇〇	同	三、一
秋田七、七五〇	同郡	同	四七八、〇〇〇	同	三、一
同　七、七五一	同郡北內越村、南內越村、小友村	同	七〇九、八〇〇	同	三、一
同　七、七五二	北秋田郡七座村、下大野村	同	九七九、九〇〇	同	三、一
同　七、七五三	同郡澤口村、桧村	滿俺	三〇〇、〇〇〇	大阪府豐能郡細河村　岡　啓太郎	外一人
同　七、七五四	南秋田郡馬場目村、北秋田郡上小阿仁村	石油	九九七、五八〇	秋田縣北秋田郡米內澤町　松岡　千代治	三、一
山形四、二一九	南村山郡、本庄村、東村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	五七二、六〇〇	東京市麹町區八重洲町一丁目　久原鑛業株式會社	三、二
同　四、二二〇	最上郡舟形村	硫化鐵	九八六、一〇〇	同市同區永樂町一丁目　大日本礦業株式會社	三、二
秋田七、七五五	北秋田郡釋迦內村、矢立村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	四一七、三〇〇	秋田縣北秋田郡釋迦內村　日景　ミネ	三、二
福島四、四七五	石城郡鹿島村、玉川村	石炭	九八二、八〇〇	東京市麹町區永樂町一丁目　磐城炭鑛株式會社	三、二
秋田七、七五六	山本郡宮根村、鹽村	石油、土瀝青	一〇〇〇、〇〇〇	東京府北豐島郡巣鴨町　遠藤　良三	三、二
青森二、五九九	下北郡佐井村	金、銀、銅	九三一、〇〇〇	三重縣四日市市藏蓮池　正六	三、二

秋田七、七五七	山本郡檜山町、種梅村、椿村	石油	六一八、四〇〇	京都市上京區衣笠大蔵町　金子　三四郎	三、三
岩手三、七九六	西磐井郡厳美村	金、銀、銅	六三一、〇〇〇	岩手縣西磐井郡厳美村　カメケサ　島	外一人
福島四、四七六	信夫郡土湯村	硫黄	一一五、八〇〇	東京府荏原郡池上村　伊澤　金五郎	外二人
秋田七、七五八	北秋田郡長木村	金、銀、銅、亞鉛、硫化鐵	七五一、二〇〇	秋田縣北秋田郡長木村　畑田　佐吉	外三人
宮城一、七〇二	刈田郡圖田村、宮村	金、銀、銅	四〇〇、一六〇	山形市旅籠町　豊田　仁藏	三、五
秋田七、七五九	由利郡小友村、南內越村	石油	八四〇、四〇〇	東京市麹町區有樂町一丁目　日本石油株式會社	三、六
同　七、七六〇	同郡矢島町	同	六八六、七〇〇	同	上
同　七、七六一	山本郡上岩川村	同	六五三、三〇〇	同	上
山形四、二二一	飽海郡吹浦村	硫黄	四五四、五〇〇	秋田縣由利郡上郷村　小松　十八　外一人	三、八
同　四、二二二	東田川郡黄金村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	七三一、六〇〇	秋田市手形谷地町　坪井　美雄　外一人	三、八
福島四、四七七	耶麻郡早稻谷村、一ノ木村	黑鉛、滿俺	五九八、八九〇	東京市小石川區大塚坂下町　劉野　一壽	三、九
山形四、二二三	西村山郡左澤町、本郷村	亞炭	五九七、六〇〇	山形縣西村山郡左澤町　高橋　作太郎　外一人	三、九
秋田七、七六二	由利郡矢島町	石油	六八九、三〇〇	東京市麹町區有樂町一丁目　日本石油株式會社	三、一〇
同　七、七六三	同郡小友村、南內越村	同	九四六、七三二	同	上
同　七、七六四	同郡小出村	同	四三二、四〇〇	同	上
同　七、七六五	南秋田郡五城目町、馬川村、富津內村	同	四三八、一〇〇	同	上
青森二、六四〇	南津輕郡尾崎村	同	六二六、六〇〇	同	上
秋田七、七六六	南秋田郡金足村、下新城村	同	八三四、九〇〇	同	上
山形四、二二四	最上郡安樂城村	同	五四八、二〇〇	同	上
秋田七、七六七	山本郡檜山町、響村	同	七五二、〇〇〇	同	上
同　七、七六八	南秋田郡下新城村、金足村	同	六一〇、二〇〇	同	上
山形四、二二五	北村山郡亀井田村	亞炭	六六、〇〇〇	山形縣南村山郡金井村　武田　辰藏	三、一〇
秋田七、七六九	北秋田郡荒瀬村	金、銀、銅、硫化鐵	一一二、〇〇〇	東京市西谷區傳馬町一丁目　松本　留吉	三、一一
山形四、二二六	最上郡東小國村	金、銀、銅	三四一、一〇〇	秋田縣雄勝郡湯澤町　高久　多兵衛	三、一二
同　四、二二七	南置賜郡三澤村	金、銀、銅、亞鉛	三二九、五六五	同縣由利郡象潟町　佐々木　敬治	三、一二
同	同郡	金、銀、銅、滿俺	一八九、六〇〇	山形縣最上郡萩野村　木村　清吉	三、二
同	同郡	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	九九六、九〇〇	青森縣東津輕郡奥内村　石川　才藏	三、三
同	同郡	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	八三二、七〇〇	東京市麹町區八重洲町一丁目　久原鑛業株式會社	三、三
同	同郡	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	四九四、〇〇〇	福島縣信夫郡渡利村　吉內　万之助	三、五
同	同郡	硫黄	一九五、六〇〇	岩手縣和賀郡湯田村　高橋　貞藏　外二人	三、五
同	同郡松尾村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	七八五、六〇〇	秋田縣北秋田郡二井田村　安達　永藏	三、五
秋田七、七七一	鹿角郡小坂町、七滝村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	一八〇、三〇〇	大阪市北區堂島北町　藤田鑛業株式會社	三、五
同　七、七七二	北秋田郡早口村、綴子村	滿俺	一九四、七〇〇	秋田縣鹿角郡花輪町　梅津　武	三、五
同　七、七七三	由利郡上川大內村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	五七五、六〇〇	同縣山本郡鶴川村　小松　十八　外一人	三、五
山形四、二二九	西田川郡山戸村	石炭	一八〇、三〇〇	東京市麹町區永樂町一丁目　淺野同族株式會社	三、六
青森二、六〇二	西津輕郡岩崎村	滿俺	七六四、九三〇	東京府荏原郡品川町　合資會社鉛滿俺製煉所	外一人
秋田七、七七四	南秋田郡上井河村	石油、土瀝青	三五二、四〇〇	秋田市桧山長野下堀反町　奥居　そと	三、六
岩手三、七九九	西磐井郡萩荘村	石油	二五三、三〇〇	東京市下谷區御徒町三丁目　江口　韜治	三、一六
秋田七、七七五	北秋田郡荒瀬村	金、銀、銅	二七〇、八〇〇	同市本郷區眞砂町　山口　重明	三、一八
同　七、七七六	同	金、銀、銅、亞鉛	四四一、〇〇〇	同	上
福島四、四七九	北會津郡大戸村	同	三七八、八〇〇	同市芝區仲門前町　野田　巽	三、一八
宮城一、七〇三	本吉郡新月村	金、銀	三六五、八〇〇	福島縣石城郡平町　星野　清吉　外二人	三、一八
福島四、四八〇	雙葉郡廣野村	石炭	七五九、九〇〇	東京府荏原郡平塚村　田野　元次	三、一八
秋田七、七七七	山本郡粕毛村、種梅村	石油	九九四、五〇〇	新潟縣中蒲原郡金津村　中野興業株式會社	三、一八
山形四、二三〇	北村山郡大高根村、楯山村	同	八五八、三〇〇	同	上
秋田七、七七八	北秋田郡澤口村	金、銀、銅、鉛、亞鉛	七一、四〇〇	茨城縣西茨城郡岩間町　北山　保	三、一九
宮城一、七〇四	柴田郡川崎村	同	七一九、六〇〇	宮城縣宮城郡陸奥町　三浦　續吉　外一人	三、二〇
青森二、六〇三	三戸郡田子村	金、銀、銅、亞鉛	二四八、四〇〇	岩手縣二戸郡斗米村　鄰子內　文助	三、二〇
福島四、四八一	石城郡小川村、上小川村、下小川村	石炭	六六四、六〇〇	福島縣石城郡赤井村　小松　外　善松　外一人	三、二〇

第4107号

○通運

◎鐵道免許狀下付 本月一日長岡鐵道株式會社ニ對シ鐵道敷設免許狀ヲ下付セリ其起業目論見ノ概要左ノ如シ

動力 蒸氣 二哩 六吋 新潟縣佐渡郡西津町 同縣同郡相川町 同日青梅鐵道株式會社ニ對シ鐵道敷設免許狀ヲ下付セリ其起業目論見ノ概要左ノ如シ

動力 蒸氣 三哩 六吋 東京府西多摩郡瀧生村 同縣同郡西多摩村 同日長州鐵道株式會社ニ對シ延長線敷設免許狀ヲ下付セリ其起業目論見ノ概要左ノ如シ

動力 蒸氣 三哩 六吋 東京府西多摩郡瀧生村 同縣同郡西多摩村 同日長州鐵道株式會社ニ對シ延長線敷設免許狀ヲ下付セリ其起業目論見ノ概要左ノ如シ

動力	軌間	起終點	延長哩程	建設費
蒸氣	二哩 六吋	新潟縣佐渡郡西津町 同縣同郡相川町	十三哩 九十鎖	十七萬圓
動力	軌間	起終點	延長哩程	建設費
蒸氣	三哩 六吋	東京府西多摩郡瀧生村 同縣同郡西多摩村	一哩三十二鎖	十二萬五千圓

○衛生

◎國際傳染病報告 本件ニ關シ去月三十日在新嘉坡國際聯盟保健部東局ヨリ左ノ通電報アリタリ(去月二十八日本郵內參看 自四月十八日至同二十四日)(內務省)

地名	患者(一月以來累計)	死者(一月以來累計)	「ペスト」患者(同上累計)	「ペスト」死者(同上累計)	「コレラ」患者(同上累計)	「コレラ」死者(同上累計)	痘瘡患者(同上累計)	痘瘡死者(同上累計)
般谷	二	一	一八	一〇七	九六五	六二九	七	一三一
西貢及ショロン	二七	一	二三	九三	二〇	七一	一	一二
香港	二	一	一	一	一	一	一一	一一
大連	一七	一七	一七	一七	一〇	一	一七	四
奉天	一	一	一	一	一	一	一〇九	二
長春	一	一	一	一	一	一	二	一四
厦門	一	一	一	一	一	一	二	一
横濱	一	一	一	一	一	一	大	一九
長崎	一	一	一	一	一	一	大三	二
門司	一	一	一	一	一	一	大四	一
安東	一七	一七	一	一	一	一	二	一八
クリボン	一	一	一	一	一	一	一	一
スエズ運河	三	一	三	一	一	一	九	一
孟買	五	一	一七	一	一	一	二	二
マドラス	一	一	一	一	一	一	二九	三四七
カラチ	二	一	一九	一	一	一〇三	一	一七一
關貢	一	一	一七	一	一	一	三一	一六一
バスラ	七	一	一八	一	一	四	一四	四
						二一	一二八	三六
						四	二八	四八
						一	九五	一
								七〇

動力 蒸氣 軌間 三哩 六吋 起終點 山口縣下關市大字大坪 同縣同市同新地 延長哩程 一哩十六鎖

電氣 三哩 六吋 自高松市五番丁至香川縣香川郡下笠居村 四哩五分 金五十萬圓

◎地方鐵道驛設置 玉南電氣鐵道株式會社所屬鐵道南平驛ヲ設置ッ去月二十八日ヨリ運輸營業開始ノ旨屆出アリタリ其哩程左ノ如シ(鐵道省)

驛名	所在地	哩程
高幡(既設驛)	東京府南多摩郡高幡村大字南平	哩分 一四
南平(既設驛)	南平、平山間	〇九
平山	南平、平山間	

在外公館報告

◎英國炭坑勞資爭議 本件ニ關スル本月二日著倫敦駐在商務書記官若松虎雄電報左ノ如シ(外務省)

炭坑勞資爭議ハ四月三十日石炭補助金期間終了前解決ノ途ヲ得ントシ政府ノ調停アリシニ拘ラス坑夫組合側ノ坑主最後ノ妥協案即チ最低賃銀ハ一九二四年賃銀協定率ノ一割三分三分ノ一減(戰前標準賃銀ノ二割增)今後三年間勞働時間ノ延長要求拒絕ノ結果遂ニ協調斷絕坑夫側ニ於テハ既ニ作業中止ノ狀態ニ在リ政府モ事態容易ナラサルヲ認メ諸種ノ準備ヲ進メ居ル模樣ナリ然レ共坑主ノ態度頑强ナルト勞働組合總會ノ平和裡ニ事態ヲ收拾セントノ意向モアリ假令罷業ニ出ルトモ資金ノ關係上永續セサルヘキヲ以テ再ヒ政府ノ調停ト爲リ大事ニ至ラシテ收拾ノ道アルヘシト豫想セリ

ケリボンニ於テハ有菌鼠一ヲ發見セシモ捕獲場所不明

バダン、パラワン島、コロンボ、デヴチハ孰モ報告未著

大阪、神戸、新潟、敦賀、下關、釜山、仁川、基隆、上海、ポートスダン、イロイロ、ジョーロ、セブ、淡南、ケープタウン、バリクパパン、ヌーメア、メナド、バレンバン、バンヂェルマシン、ペラワンデリ、カサル、ポートルイズ、サンダカン、ロレンゾマルケズ、モザンビック、アレキサンドリア、ベルペラ、フリマントル、アリスベーン、シドニー、メルボルン、メルボルン、ネガパタム 以上疫病ナシ

◎朝鮮傳染病報告 本件ニ關シ朝鮮總督府警務局ヨリ左ノ如ク報告アリタリ去月五日本(內務省)

地名	期間	病名	患者	死者
京畿道	二月中	猩紅熱	三三	五
忠清北道	同	同	一	一
忠清南道	同	同	二	一
全羅北道	同	〔猩紅熱 痘瘡	七三	一
全羅南道	同	同	四	一九
慶尙北道	同	〔猩紅熱 痘瘡	一六	三
慶尙南道	同	猩紅熱	一〇	一
平安南道	同	痘瘡	七	一
平安北道	同	〔猩紅熱 痘瘡	一〇五	一六
江原道	同	猩紅熱	一	一
咸鏡南道	同	同	一	二
咸鏡北道	同	痘瘡	五七	一
朝鮮總督府管內本年初發以來累計			二一八 二〇〇	二四 四五

◎獨逸經濟狀況 本件ニ關スル本月一日著漢堡駐在川島總領事電報左ノ如シ(外務省)

三月輸出九億二千七百輸入六億八千七百貨物出超二億六千八百客年同月ニ比シ貨物輸出三割增輸入三割七步減失業者百八十八萬破產者百五十八萬噸銑鐵七千二百噸卽チ二割七步又ハ五步減鑛業以外諸株五步乃至一割下落首相ハ商工業者大會ニテ經濟界ハ改善セルモ眞ノ恢復ハ前途尙ホ遠シト爲シ之カタメ各國トノ協調殊ニ石炭輸出ニ對スル英國トノ協定ヲ望ム(獨佛哥里協定成立來國市場ヲ險キ分配率獨七、佛三、對露輸出保障四月二十一日ヨリ開始(三月六日本欄參照)輸出保險モ近々開始ノ筈、「ライヒス、バンク」正貨十四億九千百、發券二十六億四千六百貨出シ十億五千六百金融依然緩慢日貨三分乃至五分割引率引下ケノ希望强キモ「ライヒス、バンク」總裁ハ外資流入ノタメ据置ヲ可ト爲ス物價稍ト騰貴百二十三、四、磅相場不同經濟大臣ハ爲替相場ノ公表及先物賣買制限ヲ嚴廢スヘキヲ唱ス「圓相場」「マルク」九九六、昨年度繰切政府收入總額六十八億五千六百豫算案ヨリ八千六百ノ增加鐵棒千落六磅十二大豆十一磅十七壳六、豆油三十九磅十、毛織絲五壳五羽二重四磅二

◎米國商況 本件ニ關スル本月一日著紐育駐在商務書記官原明治郎電報左ノ如シ(外務省)

棉花天候不順ノタメ植付ケ遲延シ來タ先行見込ミ立タサルカ需供關係ヨリ之ヲ見ルニ昨年ノ增收ニ對シ本年度米綿ノ世界消費高ハ最近ノ豫報ニ依レハ約千三百九十万梱七月末世界持越シ高約六百萬トヲ稱セラレ昨年同期持越高三百五十九萬ニ比シ增加著シク本年植付段別減少收穫千四百萬トヲ稱ムモ來年度供給豫ニ千萬梱ニ上ルコト、爲リ統計上期氣ヲ免レス此

所當分安値持チ合フヘシ小麥ハ農務省調ヘ三月一日米國在荷二億二千三百萬「アッシエル」億七千萬噸出二千萬トノ消費一億七千萬噸出二千萬トノ少額ニテ其後端境期七月一日マテ

起　業　地　東京府東京市本郷區元町一丁目地内

右公告ス

大正十五年五月五日

内閣總理大臣　若槻禮次郎

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起　業　者　上田温泉電軌株式會社

事業ノ種類　鐵道敷設

起　業　地　長野縣上田市大字上田、小縣郡神科村、本原村、倭陽村、長村地内

右公告ス

大正十五年五月五日

内閣總理大臣　若槻禮次郎

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起　業　者　名古屋鐵道株式會社

事業ノ種類　鐵道敷設

起　業　地　愛知縣丹羽郡犬山町、岐阜縣稲葉郡鵜沼村地内

右公告ス

大正十五年五月五日

内閣總理大臣　若槻禮次郎

廣　告

◎船舶職員試驗

本月十一日德島市公園内千代閣ニ於テ左ノ種類ニ限リ臨時試驗ヲ執行ス志願者ハ受驗申請書ヲ大阪逓信局長宛同局海事部ニ提出ス（シ）

大正十五年五月　逓信省

乙種二等運轉士　漁船乙種二等運轉士

小形船乙種二等運轉士　丙種運轉士

小形船丙種運轉士　發動機船三等機關士

◎免狀無效

第一一一九號　乙種二等運轉士免狀　明治三十一年五月二日附　青木幸次郎

第五〇四號　同（淡川港）大正四年九月八日附　山中己之吉

第一〇五號　二等機關士免狀明治三十年十月十一日附　西川　久助

第五九一號　三等機關士免狀　同三十一年三月七日附　林田　藤次

第二九四〇號　同同四十四年三月三十一日附（以上紛失）　松井　要人

第一三六五號（流失）　丙種運轉士免狀　同三十一年一月十三日附　德永亮太郎

第一九四五號　同同年二月十四日附　濱浪瀧治郎

第二一七三號　同同年同月十九日附　三木嘉次郎

第二六三〇號　同同年三月八日附　長尾　藤吉

第四五〇五號　同同年五月二十八日附（以上紛失）　田窪　作松

第九二八〇號　同三十四年四月二十五日附　池田　音吉

第一六一九三號　同大正七年五月二十九日附　桶谷常次郎

第一〇一〇八號　同明治三十七年十二月二十二日附（以上流失）　中川　孫吉

第一六七二七號　同大正七年十二月十三日附（紛失）　三熊　徳一

第四九二一號　同（小形船）同六年十月三十日附（流失）　加藤徳次郎

右届出ニ依リ執モ無效トス

大正十五年五月　逓信省

◎外國旅券無效

第二五四九〇八號　英領新嘉坡、隣領爪哇、同ボルネオ行旅券大正三年十一月一日靜岡縣下付　所有者　金原安次郎

右紛失ノ旨届出ニ依リ無效トス

大正十五年五月　靜岡縣

◎村役場位置變更

安藝郡馬路村ハ其役場位置ヲ去月一日大字馬治字門田四四四〇ノロ四四〇ノ五ニ變更セリ

大正十五年五月　高知縣

◎購買入札

第一號　生繭小紙　十万二千六百尺

納入期限（四万五千尺　六月二十日）（五万七千六百尺　七月十五日）

一入札日時及場所　本月十五日　午前十一時　當支廠ニ於テ入札、即時開札ス但シ郵便、電信入札効ナシ

一閲覧事項　契約條項、入札心得書、仕様書、標本等關係必要事項ヲ必ス　當支廠若クハ東京陸軍被服本廠、大阪陸軍被服支廠ニ就キ熟覽スルヲ要ス

一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上

一入札資格　大正十一年月大藏省令第三十三號ニ依リ資格ヲ具フルヲ要ス

大正十五年五月五日　廣島陸軍被服支廠

一外國白米（一石ノ量目三二百石）

一契約條項　マテニ入札書差出スヘシ即時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ

一入札保證金　見積價格ノ百分ノ五以上

一入札資格　大正十一年月大藏省令第三十三號ノ資格證明ノ者ニ限ル

大正十五年五月五日　奈良刑務所

一品名數量（電話熱線綸ベーム音響測深機（沖繩丸用）一組）

一納入場所　横濱市内逓信省倉庫

第一次　横濱港内逓信省海底電線布設船沖繩丸　七万八千箇

第二次　同　一壺

四納入場所　東京市内又ハ隣接町村内ニ於テ

逓信省ノ指示スル所

五入札及開札日時　本月十七日午前十一時限入札、即時開札ス

六入札場所　當局需品課購買係

七契約事項閲覧場所　同係

八入札保證金額及納付日時　見積入札價格ノ百分ノ五以上、入札當日午前十時限

九入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス

大正十五年五月五日　逓信省經理局

◎商業登記

◎東洋拓殖株式會社（追加）

一第二回社債ハ大正十五年三月十一日第三回第五回第七回第十五回第十五回第十六回第十六回第二十二回社債ハ同月十五日各一部償還シ其社債殘額ヲ左ノ如ク變更ス

社債殘額

第一回　金一百四十万圓

第三回　同　金七百二十七万四千八百圓

第五回　同　金四万一千三百圓

第七回　同　金八百万二千四百圓

第十回　同　金一千九百圓

第十五回　同　金五千七百圓

第十六回　同　金八十五万七千五百圓

第二十二回　同　金一千圓

一第三回第五回第十六回社債殘額ノ内一部償還シ大正十五年三月二十七日社債殘額ヲ左ノ如ク變更ス

社債殘額

第三回　金七百二十七万二千一百圓

第五回　金八万五百圓

第十六回　金十一万一千一百圓

右大正十五年四月十九日登記

在天津日本帝國總領事館

第二九四〇號　同同四十四年三月三十一日附（以上紛失）　松井　要人

第一三六五號（流失）　丙種運轉士免狀　同三十一年一月十三日附　德永亮太郎

第一九四五號　同同年二月十四日附　濱浪瀧治郎

第二一七三號　同同年同月十九日附　三木嘉次郎

第二六三〇號　同同年三月八日附　長尾　藤吉

第四五〇五號　同同年五月二十八日附（以上紛失）　田窪　作松

第九二八〇號　同三十四年四月二十五日附　池田　音吉

第一六一九三號　同大正七年五月二十九日附　桶谷常次郎

第一〇一〇八號　同明治三十七年十二月二十二日附（以上流失）　中川　孫吉

第一六七二七號　同大正七年十二月十三日附（紛失）　三熊　徳一

第四九二一號　同（小形船）同六年十月三十日附（流失）　加藤徳次郎

右届出ニ依リ執モ無效トス

大正十五年五月　逓信省

◎外國旅券無效

第二五四九〇八號　英領新嘉坡、隣領爪哇、同ボルネオ行旅券大正三年十一月一日靜岡縣下付　所有者　金原安次郎

右紛失ノ旨届出ニ依リ無效トス

大正十五年五月　靜岡縣

◎村役場位置變更

安藝郡馬路村ハ其役場位置ヲ去月一日大字馬治字門田四四四〇ノロ四四〇ノ五ニ變更セリ

大正十五年五月　高知縣

◎購買入札

第一號　生繭小紙　十万二千六百尺

納入期限（四万五千尺　六月二十日）（五万七千六百尺　七月十五日）

一入札日時及場所　本月十五日　午前十一時　當支廠ニ於テ入札、即時開札ス但シ郵便、電信入札効ナシ

一閲覧事項　契約條項、入札心得書、仕様書、標本等關係必要事項ヲ必ス　當支廠若クハ東京陸軍被服本廠、大阪陸軍被服支廠ニ就キ熟覽スルヲ要ス

一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上

一入札資格　大正十一年月大藏省令第三十三號ニ依リ資格ヲ具フルヲ要ス

大正十五年五月五日　廣島陸軍被服支廠

◎株式會社岡藤商店變更

一監査役前田盤太郎ハ大正十五年一月十一日其一丁目地内ヲ東京市麹町區平河町一丁目九番地ニ移轉ス

一取締役藤澤大四郎ハ同月十二日其住所ヲ東京市芝區白金三光町四百五十番地ニ移轉ス

一監査役田邊駒吉ハ同月十四日其住所ヲ大阪市北區曾根崎町上四丁目十九番地ニ移轉ス

◎大正動力株式會社變更

一取締役赤尾市次郎ハ大正十五年一月八日其住所ヲ大阪市東成區猪飼野町千三百九十五番地ニ移轉ス

◎中央火災傷害保險株式會社變更（支店）

大正十五年一月十一日仙臺市國分町十四番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉セリ

仙臺市大町三丁目六十六番地

◎株式會社千早商會變更

一取締役田坪富造ハ大正十四年十二月十五日氏名ヲ補上富造ト變更ス

一會社ヲ代表スヘキ取締役田坪富造ハ同日氏名ヲ補上富造ト變更ス

一取締役補上富造ハ大正十五年一月十日其住所ヲ大阪市西成區玉出町千五十一番地ノ四十七ニ移轉ス

◎株式會社藤本ビルブローカー銀行變更

一取締役加藤功ハ大正十五年一月十二日退任ス

◎株式會社ラバロイド商會變更

一監査役本間吉憲小島嘉一ハ大正十四年十二月二十五日重任ス

◎株式會社貴商店資本減少

一大正十五年一月十日資本減少ニ因リ資本總額及各株拂込額ヲ左ノ如ク變更ス

一資本總額　金五万圓

一各株拂込額　金五十圓

◎合資會社大坪工務店變更

一左記ノ者大正十五年一月九日入社ス

金五百圓　有限　古谷晋松　大阪市西區阿波座中通一丁目四十一番地

◎合資會社政屋商店移轉

一大正十五年一月十四日　本店ヲ左ノ地ニ移轉セリ

大阪市住吉區中野町四十七番地ノ一

◎合資會社富屋紡店變更

一大正十五年一月十五日　商號ヲ左ノ如ク變更ス

合資會社鳴神紡紡店

一同日存立時期ヲ大正二十六年一月三十一日迄ト變更ス

一無限責任社員村又造ハ同日持分全部ヲ有限責任社員鳴神三也ニ譲渡シ退社シ譲受人鳴神三也ハ出資ヲ金二万圓ト變更ス

一有限責任社員鳴神三也ハ同日持分ノ内一部宛ヲ同鳴神三也無限責任社員鳴神靜一ニ譲渡シ

出資金二万圓ト變更シ譲受人鳴神三也鳴神靜一ハ出資ヲ左ノ如ク變更ス

金五万圓　鳴神靜一

金四万圓　鳴神三也

◎入江組逓送合資會社變更

一有限責任社員井上仙三ハ大正十五年一月四日持分ノ内金二千九百圓ヲ左記ノ者ニ譲渡シ總社員ノ同意ニ因リ退社シ譲受人ハ入社ス

金二千九百圓　井上秀雄　奈良縣北葛城郡志都美村大字今泉七百十六番地

◎合資會社器械組變更

一有限責任社員大谷利平ハ大正十四年十二月三十一日持分全部ヲ左記ノ者ニ譲渡シ退社シ譲受人ハ入社ス

金一千圓　有限　小倉政雄　大阪市港區市岡町三百六十八番地

◎合資會社山驛精米所解散

一無限責任社員山驛利三郎死亡シ有限責任社員ノミト爲リタルニ因リ大正十四年三月十八日解散ス

◎合資會社岸田商店解散

一總社員ノ同意ニ依リ大正十五年一月十四日解散ス

◎合資會社高槻商店解散

一總社員ノ同意ニ依リ大正十五年一月十四日解散ス

一清算人ノ氏名住所　高槻眞澄　大阪市北區小松原町六十番地

◎合資會社設立

一商號　合資會社湯口商店

一本店　大阪市港區南恵加島町四百六十三番地

一目的　荒物金物陶器履物賣買

一設立年月日　大正十五年一月十五日

一社員ノ氏名住所出資及責任

勞務　無限　湯口馬藏　大阪市港區南恵加島町四百六十三番地

金二百圓　有限　岡本萬蔵　同所

金八百圓　同　岡本久蔵　兵庫縣出石郡神美村下谷村山二百九十四番地

一存立時期　二十箇年

◎合資會社設立

一商號　東洋均一タクシー合資會社

一本店　大阪市東區京橋三丁目六十八番地

一目的　大阪市内ニ於テタクシー自動車ヲ運轉シテ乗客運輸ニ關スル業務及自動車ノ賃貸借

一之ニ附帯スル事業

一設立年月日　大正十四年十一月二十五日

一社員ノ氏名住所出資及責任

金二万五千圓　同　西川定義　大阪府中河内郡若江村大字南若江五百六十二番地

金二万五千圓　同　村木町十六番地　鳥井喜藏　大阪市東區

一存立時期　二十箇年

◎東榮合名會社移轉

一大正十五年一月七日本店ヲ左ノ地ニ移轉セリ

大阪市北區絹笠町九番地

◎合名會社櫻井商店更正及變更

一社員櫻井重任ノ氏名ヲ櫻井重仁ト更正ス

一代表社員櫻井重任ノ氏名ヲ櫻井重仁ト更正ス

一社員三浦美喜蔵ハ大正十四年三月七日死亡シ左記家督相續人ノ氏名ヲ入社ス

三浦實男　大阪市港區鼎尾中通一丁目四十一番地

◎合名會社設立

一商號　畑平商事合名會社

一本店　大阪市西區北堀江通一丁目七番地

一目的　機械器具洋紙ノ販賣及委托販賣並ニ附帯スル一切ノ事業

一設立年月日　大正十四年十二月二十八日

一代表社員　畑田平

一社員ノ氏名住所及出資

金三万圓　畑田平　大阪市西區北堀江通一丁目七番地

金四千圓　畑田吉良　同所

金五百圓　堀口藤蔵　同所

金五百圓　桶谷三郎　同所

一存立時期　十箇年

◎合名會社設立

一商號　合名會社石川澱粉製造所

一本店　大阪市北區河内町一丁目二十四番地

一目的　澱粉ノ製造販賣右ニ附帯スル一切ノ業務

一設立年月日　大正十五年一月十五日

一社員ノ氏名住所及出資

金四千圓　中田太一　大阪市北區河内町一丁目二十四番地

金四千圓　不室藤造　同市東淀川區本庄町五百三十八番地

一存立時期　十箇年

◎商號　東京榮榮局

一營業ノ種類　資榮諸賣業

一營業所　大阪市天王寺區堂ケ芝町五十五番地

一商號使用者ノ氏名住所　米本半平　東京麻布區多摩郡淀橋町柏木三百二十一番地

◎商號新設

一商號　安井商店

一營業ノ種類　洋傘原料ノ販賣

一營業所　大阪市東區店物町三丁目二十四番地

一商號使用者ノ氏名住所　安井たゑ　住所ハ營業所ニ同シ

◎支配人選任

一支配人ノ氏名住所　吉良荒次　大阪市此花區春日出町北港五十番地ノ二

一主人ノ氏名住所　能越電氣株式會社　大阪市東區北濱三丁目四十七番地

一支配人ヲ置キタル場所　主人ノ住所ニ同シ

◎合資會社大槻商店解散

一總社員ノ同意ニ因リ大正十四年十二月三十一日解散ス

一清算人ノ氏名住所　大槻强　大阪市東區大手通一丁目三十四番地

大正十五年一月十五日登記

◎大日本商事株式會社變更

一取締役井上市次郎ハ大正十四年十二月二十八日退任ス

一監査役鳥仁三郎樋口六左衛門ハ同日退任シ左記ノ者同日監査役ニ就任ス

長尾長三郎　大阪市南區大寶寺町仲之町六十九番地

西橋儀三郎　同市天王寺區逢阪上之町九十六番地

◎株式會社瀬津貯蓄銀行更正

一大正十四年十二月三十日登記ノ取締役小林恒雄ノ死亡登記ヲ抹消シ左ノ如ク更正ス

取締役小林恒雄ハ大正十四年十二月二十五日資格喪失ス

◎株式會社九五商店證券部變更

一大正十五年一月十日各株ニ付拂込タル株金額ヲ金五十圓ト變更ス

◎合資會社吉村玉吉商店清算

一大正十四年十一月三十日清算結了

◎合資會社設立

一商號　合資會社東藏商會

一本店　大阪市北區今井町四十一番地

一目的　果實ジャム果實香料トマトソースノ製造販賣並ニ之レニ附帯スル一切ノ業務

一設立年月日　大正十五年一月十四日

一社員ノ氏名住所出資及責任

機械器具家具什器七十四點此價格金四千九百圓商品七點此價格金一万四千圓　有限　東條農作　大阪市北區信保町一丁目三十三番地

金四千圓　無限　東條伊之助　德島縣勝賀郡橘町六十八番地

金二千圓　有限　中山傑平　大阪市北區堂島上三丁目十二番地

一存立時期十箇年

◎合資會社設立

一商號　合資會社森三輪車製作所

一本店　大阪市港區南境川町二丁目三十五番地

一目的　造船業

一設立年月日　大正十五年一月十日

第4107号

一社員ノ氏名住所出資及責任
金一千圓 同 森雄
大郎 大阪市港區南堀川町二丁目三十五番地
金二百五十圓及建物此價格金七百五十圓 有限
森よし 同所
建物此價格金七百圓 森貞 同所
百圓 同 森貞 同所
器械七點此價格金一千圓 同 大山喜久雄
同所
一存立時期 十箇年
一商號新設 トモエ
一營業ノ種類 飲食店
一營業所 大阪市此花區玉川町三丁目千三百五十三番地
一商號使用者ノ氏名住所 川井茂市 住所ハ營業所ニ同シ
大正十五年一月十六日登記 大阪區裁判所

⑤燈油紡績株式會社變更
一大正十五年二月九日神戸市東尻池村番外十三番戸數ノ支店ヲ左ノ如ク稱呼變更ス
神戸市御崎町一丁目一番地
大正十五年二月十八日登記 大阪區裁判所甲可出張所

⑥合資會社設立
一商號 合資會社堺印刷所
一本店 堺市新在家町三番地
一目的 印刷業
一設立年月日 大正十五年二月十七日
一社員ノ氏名住所出資及責任
金一千圓 無限 泉谷列平 堺市南旅籠町二十八番地
金一千圓 同 妹背四五六 堺市新在家町一番地
金五百圓 有限 野村孝一 堺市中之町西一丁目十九番地
金一千圓 同 泉谷辰造 堺市少林寺町西四丁目十九番地
右大正十五年二月二十日登記 堺區裁判所

⑦泉信託株式會社清算
大正十四年十二月二十日清算結了
大正十五年二月十八日登記 堺區裁判所

⑧株式會社
一大正十五年一月二十七日 左記ノ者新ニ取締役ニ就任ス
横山治右衛門 明石市桐生町七十五番屋敷
一江井ケ嶋酒精資賣株式會社變更
一大正十五年一月二十八日各重任シ左記ノ者同日新ニ取締役ニ就任ス
卜部島太郎 明石郡大久保村西島九百九十四番地ノ一
右大正十五年二月四日登記

⑨合名會社明社資物自動車運送店出資增加及變更
一大正十五年二月一日社員長田鳳一ハ其出資全部ヲ左ノ者ニ讓渡シ退社ス 讓受ケ人ハ新ニ入社ス
金一千三百圓 坂口正義 明石郡神出村北四百四十九番地ノ一
同日左ノ者新ニ入社ス
金一千三百圓 藤本喜代市 明石郡神出村東八百六十五番地
金一千三百圓 藤井貴治 同所七十八番屋敷
同日左ノ者代表社員トナル
藤本喜代市
右大正十五年二月六日登記
⑩明石窯業株式會社變更
一取締役山崎熊一山崎初太郎 尾上喜藏田口政五郎丸尾秀吉ハ 大正十五年一月二十七日各重任ス
右大正十五年二月八日登記 明石區裁判所

⑪合資會社設立
一商號 商號合資會社三木農工具製作所
一本店 本店美嚢郡別所村字高木百二番地
一目的 農具各種二並ニ洋鍬鋤等ノ製作販賣
一設立年月日 大正十年三月十五日
一社員ノ氏名住所出資及責任
金五千圓 有限 金五千圓無限藤本佳一郎 松美嚢郡別所村高木百二番地
金三千圓無限藤本佳一明石郡押部谷村西藤太郎 金三千圓無限寺尾巽大阪市西區江戸堀北通二丁目百一番地
右大正十五年二月十五日登記 明石區裁判所三木出張所

⑫鐘淵紡績株式會社變更(支店)
大正十五年二月九日行政區劃ノ變更ニ伴フ地番變更ニヨリ神戸市東尻池村番外十三番屋敷ノ支店ヲ左ノ如ク變更
神戸市御崎町一丁目一番地
右大正十五年二月十八日登記 淵本區裁判所

⑬倭織布株式會社變更
一取締役福井潤一ハ 大正十五年二月八日死亡ス
大正十五年二月二十二日登記 奈良區裁判所

⑭株式會社
右大正十五年二月四日十三銀行變更(支店)
一株ノ名株拂込額ヲ金二十五圓ト變更ス
右大正十五年二月二十二日登記 五條區裁判所

⑮株式會社奥田製油所變更
一取締役一名增員ニ付 大正十五年二月十一日左記ノ者新ニ就任ス
奥田榮之助 岐阜縣大垣市字若森百五番戸
大正十五年二月二十二日登記 彦根區裁判所愛知川出張所

⑯合資會社塚本商店清算
一大正十五年二月十日清算結了
大正十五年二月二十二日登記 彦根區裁判所八幡出張所

⑰北海道土地株式會社變更
一監査役中浮安治郎杉本吉之輔ハ 大正十五年二月十八日重任ス
大正十五年二月二十日登記 長濱區裁判所

⑱合名會社設立
一商號 合名會社
一本店 番地 伊香郡木之本町大字木之本千百三十六
一目的 絹織加工販賣
一設立年月日 大正十五年二月二十日
一代表社員ノ氏名 安達四郎
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及ビ價格
金二千五百圓 安達四郎 伊香郡木之本町大字木之本千百三十六番地
金二千五百圓 岩根喜一 同所三百五十六番屋敷
一存立ノ時期 設立ノ日ヨリ向フ二十箇年
大正十五年二月二十日登記 長濱區裁判所木之本出張所

⑲關西木工合資會社清算
一大正十五年二月十日清算結了
一各新株拂込額ヲ金二十五圓ト變更ス
大正十五年二月十五日 大阪市浪速區元町二丁目二千七百一番屋敷ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉セリ
大阪市浪速區元町二丁目八〇番地ノ一

⑳株式會社中西木材商會變更
一取締役堀川題迺ハ大正十五年二月三十一日辭任ニ付補欠ニ大正十五年二月八日左記ノ者新ニ取締役ニ就任
藤田友吉 和歌山市北ノ新地下六軒丁二番地
一監査役菅野重吉ハ 大正十五年二月七日退任ス
大正十五年二月十七日登記

㉑鐘淵紡績株式會社變更(支店)
一大正十五年二月九日行政區劃ノ變更ニ伴フ地番ノ變更ニ依リ神戸市東尻池村番外十三番屋敷ノ支店ヲ同市御崎町一丁目一番地ト變更ス
大正十五年二月十八日登記 和歌山區裁判所

㉒株式會社四十三銀行變更(日方支店)
一各新株拂込額ヲ金二十五圓ト變更ス
㉓株式會社四十三銀行變更(黒江支店)
一各新株拂込額ヲ金二十五圓ト變更ス
右大正十五年二月二十二日登記 和歌山區裁判所黒江出張所

㉔株式會社四十三銀行變更(支店)
一各新株拂込額ヲ金二十五圓ト變更ス
右大正十五年二月二十二日登記 和歌山區裁判所湯浅出張所

㉕株式會社是髮樂伊都郡配給所
大正十五年二月十五日清算結了
右大正十五年二月二十二日登記 妙寺區裁判所

㉖株式會社四十三銀行變更(支店)
一各新株拂込額ヲ金二十五圓ト變更ス
大正十五年二月二十二日登記 妙寺區裁判所橋本出張所

㉗株式會社四十三銀行變更(支店) 各新株拂込額ヲ金二十五圓ト變更ス
右大正十五年二月二十二日登記 妙寺區裁判所粉河出張所

㉘株式會社四十三銀行變更(支店)
一各新株拂込額ヲ金二十五圓ト變更ス
大正十五年二月二十二日登記 御坊區裁判所

㉙株主總會ノ決議ニ基キ大正十五年二月一日尾道市十四日町八百五十番地ヲ合併存續ニ付キ左ノ事項ヲ追加ス
一合併ニ因リ增加シタル資本ノ總額 金二十四万圓
一合併ニ因ル各株ニ付拂込ミタル株金額 五百株ニ對シテハ金五十圓四千二百株ニ對シテハ金二千圓
一合併決議ノ年月日 大正十四年十二月
右大正十五年二月十四日登記 福山區裁判所

㉚合資會社福塚本商店清算
一大正十五年二月十日清算結了
大正十五年二月二十二日登記 彦根區裁判所八幡出張所

㉛合資會社設立
一商號 合資會社
一本店 福山市三之丸町甲十四番地
一目的 金鏡貸付業
一代表社員ノ氏名 田中八九郎
一設立ノ年月日 大正十五年二月二十日
一存立ノ時期 十箇年
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及ビ責任
金二千圓 無限 田中八九郎 福山市三之丸町甲十四番地
金千圓 有限 田中梅野
金千圓 有限 田中滋子
金千圓 有限 原田桃代
右大正十五年二月十四日登記 福山區裁判所

㉜株式會社
一大正十四年十二月四日株主總會ノ決議ニ基キ大正十五年二月一日尾道市十四日町八百五十番地ヲ合名會社西原銀行ヲ合併シ同年二月十八日株主總會終了シタルニ付左記ノ事項ヲ追記ス
一合併ニ因リ增加シタル資本總額 金二十四万圓
一合併ニヨリ各株ニ付拂込株金額 五百株ニ對シテハ金五十圓拂込 四千三百株ニ對シテハ金十二圓五十錢拂込
右大正十五年二月二十日登記 岡山區裁判所足守出張所

㉝合資會社田原商店清算
一清算人ノ氏名住所 田原良一 眞庭郡落合町
右大正十五年二月二十二日登記 勝山區裁判所落合出張所

㉞株式會社
一取締役高橋秀治野坂淳藏藤田富太郎ハ任期滿了ニ付大正十五年二月二日退任シ攻綠役山口虎吉ハ大正十四年十二月二十六日定時株主總會ニ於テ再選セラレ 大正十五年二月十五日重任ス
一大正十四年十二月二十六日定時株主總會ニ於テ左記ノ者取締役ニ選任セラレ 大正十五年二月十五日各就任ス
小坂 平藏 西伯郡米子町龜崎一丁目四十九番地
本城作太郎 同郡同町西倉吉町六十番地
佐田狗次郎 同所七十四番地
遠藤 光徳 同所四十三番地
一監査役田邊貫一ハ 大正十五年二月六日退任ス
一左記監査役任期滿了ノ處 大正十四年十二月二十六日定時株主總會ニ於テ再選セラレ 大正十五年二月十五日各重任ス
監査役 佐野善市古志谷忠造
右大正十五年二月二十日登記 米子區裁判所

①中央醤油株式會社變更
一各株拂込額ヲ金十七圓五十錢ト變更ス
大正十五年二月二十二日登記 御嵩區裁判所

②株式會社名古屋銀行變更(支店)
一大正十五年二月五日行政區劃名稱ノ變更ニ因リ豊橋市大字札木四十一番地ノ支店ヲ左ノ通變更ス
豊橋市札木町四十一番地
大正十五年二月二十日登記 御嵩區裁判所土岐出張所

③敦賀無盡株式會社變更
一監査役野村利八石田安次郎ハ 大正十五年二月二十一日辭任ス
大正十五年二月二十三日登記 敦賀區裁判所

④株式會社
大正十五年二月十五日支店ヲ左ノ地ニ設置セリ
京都府加佐郡岡田上村字地頭小字由里ノ上第百四十三番地ノ二
右大正十五年二月二十二日登記 小濱區裁判所本郷出張所

⑤合資會社
一大正十五年二月十日 總社員ノ同意ニ依リ解散ス
一合資會社羽田洋服店變更
一社員高武助ハ 大正十五年二月二十二日其持分全部ヲ左ノ者ニ讓渡退社ス
金千圓 有限責任 羽田梅
金澤市上胡桃町
右大正十五年二月二十二日登記 金澤區裁判所

⑥株式會社
一監査役長瀬孝太郎ハ 大正十五年二月十四日死亡セリ
右大正十五年二月十九日登記
⑦株式會社石川銀行變更支店
一取締役村田豊次ハ 大正十五年二月十二日辭任ス
右大正十五年二月二十日登記 金澤區裁判所鶴來出張所

⑧小松精麥株式會社變更
一取締役監査役全員任期滿了ノ處 大正十五年二月十五日左ノ通リ選任ス
取締役 園山 武平 能美郡小松町字三日市
園山 町二十二番地
金蓋 信吉 同郡同町字中町四十八番地
同 杉山九兵衛 同郡同町字三日市町六番地
監査役 三木 貞吉 同郡同町字地子町三十五番地
同 岸 三次郎 同郡同町字本折町百五十六番地

⑨小松精麥株式會社變更
一取締役監査役全員任期滿了ノ處 大正十五年二月十五日左ノ通リ選任ス
取締役 園山 武平 能美郡小松町字三日市
園山 町二十二番地
金蓋 信吉 同郡同町字中町四十八番地
同 杉山九兵衛 同郡同町字三日市町六番地
監査役 三木 貞吉 同郡同町字地子町三十五番地
同 岸 三次郎 同郡同町字本折町百五十六番地
金澤區裁判所鶴來出張所

⑩株式會社鶴來銀行變更
一監査役長瀬孝太郎ハ 大正十五年二月十四日死亡セリ
右大正十五年二月十九日登記
⑪株式會社石川銀行變更支店
一取締役村田豊次ハ 大正十五年二月十二日辭任ス
右大正十五年二月二十日登記 金澤區裁判所鶴來出張所

⑫小松建物商事株式會社變更
一取締役監査役全員任期滿了ノ處 大正十五年二月十日左ノ者選任ス
取締役 山上善之松池田喜十郎酒井長平
監査役 忠谷直二湯浅九右衛門瀧田清八
同 新任 九瀬清五郎 能美郡小松町字西五番地
右大正十五年二月二十二日登記 小松區裁判所

⑬合資會社設立
一商號 花見園家禽合資會社
一本店 石川縣能美郡久宗村字德久イ八十七番地
一目的 一家禽種類ノ飼養並ニ販賣一家禽種類ノ卵販賣一家禽用飼料ノ販賣一家禽器具類ノ販賣
一設立ノ年月日 大正十五年二月二十日
一社員ノ氏名住所及出資責任
金一千圓 無限 石川縣能美郡久宗村字德久イ八十七番地
金三百圓 同 宮崎安市 同縣同郡同村同
金一千圓 有限 一瀬タキ 同縣同郡同村同
金七百圓 同 一瀬イマ 長崎縣佐世保市
比良町五十二番地
代表社員ノ氏名 一瀬義治
一存立時期 設立ノ日ヨリ滿五十箇年間
右大正十五年二月二十二日登記 小松區裁判所山上出張所

⑭商號新設
一商號 福盛堂
一營業ノ種類 賣藥
一營業所 中新川郡滑川町大字神明町一二〇七番地
一商號使用者ノ氏名住所 野尻灰次郎 中新川郡滑川町大字神明町一二〇七番地
右大正十五年二月二十三日登記 魚津區裁判所滑川出張所

⑮小杉倉庫株式會社變更
一監査役高安藤次郎ハ 大正十五年二月九日死亡ス
右大正十五年二月二十二日登記 高岡區裁判所小杉出張所

⑯和田藝妓協同組合名會社變更
一代表社員石澤榮太郎ハ 大正十五年二月十一日死亡ス
大正十五年二月二十三日登記 高岡區裁判所福岡出張所

⑰合資會社山本石炭商店解散
一總社員ノ同意ニ因リ大正十五年一月二十日解散シタリ
右大正十五年二月二十日登記 米子區裁判所

⑱日の出醤油株式會社變更
一取締役中島熊八大正十五年二月十日其任所ヲ廣島市大手町八丁目百九番地ノ二ニ移轉ス
監査役市川誠次ハ大正十五年二月十五日其住所ヲ兵庫縣武庫郡御影町郡家字大藏三十五番地ニ移轉ス
一日本生命保險株式會社變更(支店)
監査役西村紬三ハ 大正十五年二月十八日取締役山口吉郎兵衛弘世明太郎正國安ハ同月二十日各重任ス
大正十五年二月二十二日登記 廣島區裁判所
⑲株式會社第一合同銀行合併(支店)
一番戸郎合名會社西原銀行ヲ合併シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲ス
一增加資本總額 金二十四万圓
一合併決議年月日 大正十四年十二月四日
一各新株拂込額 五百株ニ對シテハ金五十圓四千三百株ニ對シテハ金二千圓
大正十五年二月二十二日登記 尾道區裁判所
⑳合資會社設立
一商號 福山製藥合資會社
一本店 福山市三之丸町甲十四番地
一目的 金鏡貸付業
一代表社員ノ氏名 田中八九郎
一設立ノ年月日 大正十五年二月二十日
一存立ノ時期 十箇年
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及ビ責任
金二千圓 無限 田中八九郎 福山市三之丸町甲十四番地
金千圓 有限 田中梅野
金千圓 有限 田中滋子
金千圓 有限 原田桃代 同所同番地
同 山崎榮淺口郡六條院村大字六條院三千五百四十二番地
右大正十五年二月二十二日登記 福山區裁判所
㉑油木冷藏株式會社變更
一監査役中野英太郎ハ油木近市ハ 大正十五年二月十八日重任ス
大正十五年二月二十二日登記 福山區裁判所
㉒株式會社
一大阪典信株式會社變更
大阪市南區鰻谷西之町十二番地
右大正十五年二月十日登記
㉓株式會社第二合同銀行登記事項變更
一大正十四年十二月四日株主總會ノ決議ニ基キ大正十五年二月一日尾道市十四日町八百五十番地ヲ合名會社西原銀行ヲ合併シ同年二月十八日株主總會終了シタルニ付左記事項ヲ追記ス
一合併ニ因リ增加シタル資本總額 金二十四万圓
一合併ニ依リ各株ニ付拂込ミタル株金額 五百株ニ對シテハ金五十圓四千二百株ニ對シテハ金二千圓
合併決議ノ年月日 大正十四年十二月四日
右大正十五年二月十四日登記 福山區裁判所
㉔鐘淵紡績株式會社變更(支店)
大正十五年二月九日行政區劃ノ變更ニ伴フ地番變更ニヨリ神戸市東尻池村番外十三番屋敷ノ支店ヲ左ノ如ク變更ス
神戸市御崎町一丁目一番地
右大正十五年二月十八日登記 岡山區裁判所
㉕株式會社第一合同銀行變更(支店)
大正十四年十二月四日株主總會ノ決議ニ基キ大正十五年二月一日尾道市十四日町八百五十番地ヲ合名會社西原銀行ヲ合併シ同年二月十八日株主總會終了シタルニ付左記ノ事項ヲ追記ス
一合併ニ因リ增加シタル資本總額 金二十四万圓
一合併ニヨリ各株ニ付拂込株金額 五百株ニ對シテハ金五十圓拂込 四千三百株ニ對シテハ金二千圓
右大正十五年二月二十日登記 岡山區裁判所足守出張所
㉖合資會社田原商店清算人選任
一清算人ノ氏名住所 田原良一 眞庭郡落合町
右大正十五年二月二十二日登記 勝山區裁判所落合出張所
㉗株式會社
一取締役高橋秀治野坂淳藏藤田富太郎ハ任期滿了ニ付大正十五年二月二日退任シ攻綠役山口虎吉ハ大正十四年十二月二十六日定時株主總會ニ於テ再選セラレ 大正十五年二月十五日重任ス
一大正十四年十二月二十六日定時株主總會ニ於テ左記ノ者取締役ニ選任セラレ 大正十五年二月十五日各就任ス
小坂 平藏 西伯郡米子町龜崎一丁目四十九番地
本城作太郎 同郡同町西倉吉町六十番地
佐田狗次郎 同所七十四番地
遠藤 光徳 同所四十三番地
一監査役田邊貫一ハ 大正十五年二月六日退任ス
一左記監査役任期滿了ノ處 大正十四年十二月二十六日定時株主總會ニ於テ再選セラレ 大正十五年二月十五日各重任ス
監査役 佐野善市古志谷忠造
右大正十五年二月二十日登記 米子區裁判所

第4107号

◉相續財産管理人選任

本籍及最後ノ住所　名古屋市西區則武町二十七番戸ノ主平民農　被相續人　亡大原德左エ門
名古屋市中區廣路町字大神山十番地ニ於テ安政三年九月三日出生
明治二十九年六月二十八日最後ノ住所ニ於テ死亡
名古屋市中區廣路町字伊勝五十七番地
相續財産管理人　佐久間國三郎
當裁判所ハ利害關係人名古屋市中區廣路町字牛右衛門山四十九番地ノ第一大原清次郎ノ申請ニ因リ前記佐久間國三郎ヲ亡大原德左エ門ノ相續財産管理人ニ選任シタリ
大正十五年四月二十四日　名古屋區裁判所

◉禁治産宣告

東京府荏原郡平塚村大字戸越千百七十四番地
右ニ對シ東京府南足立郡千住町三丁目一番地小池萬吉方川鍋トヨノ申立ニ因リ當區裁判所ハ大正十五年四月十九日禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
大正十五年四月二十二日　東京區裁判所

◉準禁治産宣告

本籍地及住所千葉縣市原郡海上村分目百八十七番地平民農　岡田　輝六
明治三十二年四月十六日生
右ニ對シ實母岡田ゑつノ申立ニ因リ大正十五年四月二十一日準禁治産ヲ爲シタリ
大正十五年四月二十一日　千葉區裁判所
千葉縣山武郡瑞穂村菅野四百八十二番地
本籍地同上　星見四郎吉
明治十二年一月二日生
右ニ對シ同所同番地星見てるノ申立ニ因リ當區裁判所ハ大正十五年三月二十六日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
大正十五年四月二十一日　八日市場區裁判所

◉準禁治産宣告取消

京都市上京區大宮泉堂町十一番地　井上　常治
右ノ者ニ對シ其兄井上庄次郎ノ申立ニ因リ當裁判所ハ大正十五年四月二十一日準禁治産ノ宣言ヲ爲シタリ
大正十五年四月二十二日　京都區裁判所
奈良市薬師堂町　吉村長次郎
明治三十三年十二月三十一日生
右ニ對シ實母吉村なゑノ申立ニ因リ當區裁判所ハ大正十五年四月二十一日準禁治産ノ宣言ヲ爲シタリ
大正十五年四月二十一日　奈良區裁判所

本籍京都市下京區新橋通大和大路東入二丁目橋本通四百五番地
住所和歌山縣海草郡和歌浦町四百六十番地　主原　マサ
明治二十二年十月十四日生
右ニ對シ姉宮田フサノ申立ニ因リ當區裁判所ハ大正十五年四月二十一日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
大正十五年四月二十三日　和歌山區裁判所
愛知縣海部郡八開村大字赤目字流作一千六百五番地　野口爲三郎
明治十四年三月三日生
右ニ對シ同縣同郡同村同大字同番地野口爲七ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ大正十五年四月十三日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
大正十五年四月十三日　名古屋區裁判所
本籍西礪波郡正得村七社九百五十一番地　西木　清作
住所同所　明治三十年六月十六日生
右ニ對シ父西本太七郎ノ申立ニ因リ大正十五年四月二十一日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
大正十五年四月二十一日　出町區裁判所
鳥取縣氣高郡大正村大字古海六十一番地平民農　宮脇甚太郎
明治三十年三月二十三日生
右ニ對シ其實母くめ及實弟儀宣為代藏ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ大正十五年四月二十日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
大正十五年四月二十一日　鳥取區裁判所
大分縣東國東郡大内村四千三十四番地戸主平民農　廣石慈悲郎
明治三十三年五月十五日生
右ニ對シ東國東郡奈狩江村大字狩宿千六百七十三番地宮本倉治ノ申立ニ因リ浪費者ト認メ大正十五年四月二十四日準禁治産ヲ宣告シタリ
大正十五年四月二十四日　竹築區裁判所
熊本縣菊池郡花房村大字木柑子三百八十一番地　松岡　幸敬
明治十四年十月十六日生
右ニ對シ從兄松岡遠雄ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ大正十五年四月十六日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
大正十五年四月二十日　山鹿區裁判所
本籍及住所福島縣相馬郡石神村北新田字五反田百四十五番地平民農　伊賀　武
明治二十四年三月二十二日生
右ニ對シ實父伊賀本次郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ大正十五年四月二十一日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
大正十五年四月二十一日　相馬區裁判所

◉準禁治産宣告

福井縣本立郡河和田村西袋第十四號三十一番地　登
右ニ對シ大正七年五月二十五日福井區裁判所ノ宣告シタル準禁治産ハ同居ノ父内田治郎兵衛ノ申立ニ因リ大正十五年四月十三日之ヲ取消シタリ
大正十五年四月二十四日　武生區裁判所
西蒲原郡荻野村淺地四千六百番地　内田
右ニ對シ大正元年八月五日高岡區裁判所ノ宣告シタル準禁治産者　藤本直次郎
大正十五年四月二十一日之ヲ取消シタリ
大正十五年四月二十一日　出町區裁判所
本籍及住所東伯郡上中山村大字退休寺一番屋敷　太田　辰市
明治十八年八月二十八日生
右ニ對シ當裁判所ノ大正二年十二月十七日宣告シタル準禁治産ハ妻はつノ申立ニ因リ大正十五年四月二十一日之ヲ取消シタリ
大正十五年四月二十一日　倉吉區裁判所
本籍及住所福岡縣筑紫郡那珂村大字板付五百八十五番地　小西　新平
明治二十年十月二十日生
右本人ノ申立ニ因リ大正十四年十月六日當裁判所ガ爲シタル準禁治産ノ宣告ハ大正十五年四月九日之ヲ取消シタリ
大正十五年四月十七日　福岡區裁判所
山形縣西置賜郡鮫峯村大字高玉千三十八番地　青木　喜平
明治三十一年一月四日生
右ノ者ニ對シ大正十三年十二月十二日當裁判所ガ爲シタル準禁治産宣告ハ本人母青木てふノ申立ニ因リ大正十五年四月二十日之ヲ取消シタリ
大正十五年四月二十一日　米澤區裁判所

◉公示催告

横濱市長者町六丁目五十七番地　申立人　太田　晋吉
別紙目錄記載ノ證券ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ大正十五年十二月十八日午前十時迄ニ當區裁判所ニ權利ヲ屆出テ且證券ヲ提出スヘシ若右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サザルニ於テハ其無效ヲ宣言スルコトアルヘシ
大正十五年四月二十四日　横濱區裁判所
失權スヘキ手形ノ表示
金二千圓
振出地　横濱市
支拂期日　大正十二年十月二十日
支拂場所　横濱興信銀行伊勢佐木町支店
振出人　大正十二年八月二十日　横濱市梅ヶ枝町三十五番地　田村タカ
西村錬吉宛
第二號　金一千圓也
振出地　横濱市
支拂期日　大正十二年十月二十五日
支拂場所　横濱興信銀行伊勢佐木町支店
振出人　大正十二年八月二十五日　横濱市梅ヶ枝町三十五番地　田村タカ
西村錬吉宛
第三號　金一千圓也
振出地　横濱市
支拂場所　横濱興信銀行伊勢佐木町支店
振出人　大正十二年十月十八日　横濱市梅ヶ枝町三十五番地　田村タカ
西村錬吉宛
第四號　金一千圓也
振出地　横濱市
支拂期日　大正十二年十月二十五日
支拂場所　横濱興信銀行伊勢佐木町支店
振出人　大正十二年八月十五日　横濱市梅ヶ枝町三十五番地　田村タカ
西村錬吉宛

一倉荷證券　一通
證券番號中實第〇〇四二號　品名テエッカード紙四箱荷造板梱記號S/N　數量約四十四連也保管場所大阪市北區玉江町一丁目玉江町倉庫入庫月日大正十五年三月四日保管期限大正十五年七月十五日寄託者株式會社中商店證券發行者大阪市北區中之島五丁目十五番地株式會社住友倉庫中之島支店　證券月日大正十五年三月五日
右證券ニ付キ中立人大阪市東區本町一丁目十二番地株式會社中村商店ヨリ公示催告ノ申立アリタルニ付其所持人ハ大正十五年十一月五日午前九時迄ニ當裁判所ニ權利ノ屆出ヲ爲シ且ツ證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ權利ノ屆出及證券ノ提出ヲ爲サザルトキハ前記證券ノ無效宣言ヲ受クヘシ此旨催告ス
大正十五年四月十七日　大阪區裁判所
松山市大字三番町　中立人　株式會社五十二銀行
右法律上代理人取締役　石原　操
右中立人ヨリ左記證券ニ付公示催告ノ申立ヲ爲シタル ニ因リ其所持人ハ大正十五年十一月三十日午前九時迄ニ當裁判所ニ其權利ヲ屆出テ且其證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サザルニ於テハ其無效ヲ宣言スルコトアルヘシ
大正十五年四月十九日　松山區裁判所

一農業倉庫倉荷證券　一通
發行人　愛媛縣溫泉郡農會長　宮脇茲雄
寄託者　同縣松山市大字傘屋町　三好傳次郎
證券番號　第六六號
品名　大正十四年度産米二百五十俵
保管場所　本庫第一倉庫
保管期間　自大正十四年十一月二十四日至大正十五年五月二十三日
保管料　一俵ニ付一箇月金二錢
證券發行日　大正十四年十一月二十七日
京城府本町四丁目百三十一番地　申立人　谷岡　貞七
京城府長谷川町九十三番地　右代理人辯護士　森井典一郎
一證書　一〇三　金額　九圓也
番號　一一二　金額　二百八十圓也
番號　一一四　金額　二百十二圓三十錢也
NO NO NO.小切手　參枚
振出人　朝鮮總督府殖産局農料還元研究所賣金前渡官吏　沖野來蔵
支拂人　日本銀行京城代理店
受取人　谷岡貞七渡又ハ小切手持參人
振出年月日　大正十三年八月十五日
支拂地　京城府
最後ノ所持人　申立人
右證券ニ付申立代理人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ大正十五年十一月十六日午前十時迄ニ當院ニ權利ヲ屆出テ且右證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サザルニ於テハ其無效ヲ宣言スルコトアルヘシ
大正十五年四月二十二日　京城地方法院

下名保行ハ大正十五年五月三日各其株主諸時總會ニ於テ合併ノ上株式會社五十銀行ハ存續シ株式會社下妻銀行ハ解散スル旨決議致候間右合併ニ付紳異議有之候債權者各位ハ大正十五年六月十日迄ニ御申出相成度此段公告候也
大正十五年五月四日　株式會社五十銀行
茨城縣眞壁郡下妻町大字下妻四百六十四番地　株式會社下妻銀行
茨城縣新治郡土浦町九百二番ノ六

大正十五年五月五日（水曜日）　（第三種郵便物認可）　官報　第四一〇七號

◉日本銀行週報

◉兌換銀行券發行高每週平均高報告（自大正十五年四月十五日至大正十五年五月一日）

兌換銀行券發行高

内訳	
制限超過發行高	一一九〇七四七四二八〇〇〇
準備	二六二八四四三四〇〇〇
金貨及金地金	一〇〇五八一一三〇八三九〇〇〇
合計	一〇〇五八一一三〇八三九〇〇〇
政府證券	四九二〇〇〇〇〇〇〇〇〇
保證	四九二〇〇〇〇〇〇〇〇〇
手形	六〇八八三一四三二〇〇〇
合計	一三二六二九九九〇〇〇

◉營業每週報告（大正十五年五月一日）

負債ノ部

資本金	六〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
積立金其他株主ニ屬スル勘定	八九九〇三三三一二〇一〇
兌換銀行券發行高	一二三六〇〇〇〇三四九〇〇〇
小額紙幣引換準備預金	一六二四八〇一七〇五〇〇
政府寄託金	六五三九三八二六〇八四八
預金	七六三五四四四五八四一〇
他ノ預金	一三八四六〇九四〇
借入金	一九二一八八二三四〇〇七八
總計	二一五一九一七〇四四七九六

資産ノ部

引換準備金	三一三〇〇〇〇〇〇〇〇〇
引換手形	三一九九八二五六三六〇二〇
政府貸金	三一二〇〇〇〇〇〇〇〇〇
法定貸金	三七七七八〇四六〇八〇〇七
外國爲替貸付金	五九八〇三〇九四一九〇
代理店勘定	一六四八一四三〇八七一八
他ノ代理店勘定	七〇三五八九五三〇
公債	二六八一一六四六〇〇一一三〇
土地建物	四一〇一三六四三三六二
小額紙幣引換準備預金	一六二四八〇一七〇五〇〇
普金	一一三三五一四五八一七〇
政府勘定特殊現金	一一三三五一四五八一七〇
通貨及地金銀	二六一五一九一七〇四四七九六
總計	二一五一九一七〇四四七九六

大正十五年五月四日　日本銀行

◉外國行郵便物東京中央郵便局締切日時表

普通	通常	書留	小包	郵便	郵便
時	月日	時	月日	郵便	郵便
南支那、香港、フィリピン群島、英領印度等行				帆港	船名
九、六前	六、五前	九、六前	六、五前		
西亞、歐洲等行					
同 七、七	十	同 七、七	十	敦賀	嘉義丸

第4107号

第參拾期決算報告

（自大正拾四年四月壹日至大正拾五年參月參拾壹日）

貸借對照表

（負債之部）

	圓
資本金	二〇、〇〇〇、〇〇〇
準備積立金	四、〇〇〇、〇〇〇
別途積立金	一、五〇〇、〇〇〇
行啓記念積立金	一、〇〇〇、〇〇〇
配當平均準備積立金	一、〇〇〇、〇〇〇
養老退職給與基金	三〇〇、〇〇〇
慶弔救濟資金	六三六、六七〇、四六
借入金	九九、七一二、五九
預り金	一四〇、六一五、二二
未拂配當金	三、〇〇〇、〇〇〇
未拂繰越金	三、〇〇一、一一〇、八二
前期繰越金	七三三、五三三、三四
合計	一、一八九、三三一
	二三〇、五七六、〇七
	三五、一五四、二一一、八一

（資產之部）

	圓
拂込未濟株金	一、二〇一、六七七、五〇
土地	一、五〇〇、〇〇〇、〇〇
建物	五四二、〇〇〇、〇〇
造船器具	一、八六〇、〇〇〇、〇〇
機械及器具	二一四、六〇〇、〇〇
有價證券	四二三、六四六、二一
貸付金	四、〇三六、八六一、五〇
預ケ金	五一一、二六六、七七
未收入金	一七三、九九二、七八
假拂金	六、三八〇、四〇二、八五
上棚蘭定	一三〇、二五九、七八
玉生絲殘品	二、五二六、八〇七、三六
肩用殘品	一七八、二四八、三三
玉屑殘品	一三八、七六〇、四六
物殘品	二三二、三九〇、八七
現損失	八一、四九四、三〇
損益計算	一四三、八〇三、一〇
合計	三五、一五四、二一一、八一

	圓
當期總損益金	五五、二三八、一一二、六八
差引當期繰越金	五五、三八一、九一五、七八
前期繰越金	一四三、八〇三、一〇
	二三〇、五七六、〇七

	圓
差引	殘
配當平均準備積立金繰入	八六、七七二、九七
合計	七〇〇、〇〇〇、〇〇
	七八六、七七二、九七
株主配當金（年八朱）	七〇三、八六五、八〇
後期繰越金	八二、九〇七、一七

右之通リ相違無之候也

大正拾五年四月貳拾日

常任監査役 宅間藤馬

監査役 荻野澄敏

同 村上正夫

同 高木重兵衛

同 取締役 森津幸一郎

同 取締役 平野吉左衛門

同 取締役社長 長木半兵衛

同 專務取締役 片山良源

同 常務取締役 波多野林一郎

取締役 遠藤三郎兵衛

取締役 金山太郎

右之通リ相違無之候也

大正拾五年四月拾日

京都府愛宕郡鹿ヶ谷村字青野六拾貳番戶

株式會社 是假絲

取締役及監査役滿期ニ付改選ノ結果何レモ重任シ取締役小野藏三新任セリ

カタログ進呈

天幕雨覆專業

東京市深川區熊井町

小川治兵衛商店

電話墨田二三八三・三七八八永代橋際

長尾式鳥形防火噴霧兩用喞筒

カタログ呈す

●本器は吸入管を取付て井戸、川、池等よりも吸水し尚ゴム水管を取付ければ屋上に於て自由に放水し得るの特色を有す 尚噴霧器を取付け鶏室、病室の消毒及果樹蔬菜の害蟲驅除に適す

東京市神田區松富町四番地 長尾工業所

電話下谷特一一一番

○諸學校軍教用品一切。軍隊用品。

○陸軍制式度器。量器。衡器。計量器。（官許）

○銃劍術要具。擊劍道具。柔道衣。

○喇叭。旗。徽章。在鄉軍人會 青年團 用品一切

東京市日本橋區小傳馬町一ノ九（電車交叉點側）

軍需品製造株式會社

（目錄送呈）

電話浪花三六九六番 振替口座東京八〇八八番

◇ディヴライ映寫機

御諸官廳、學校、軍隊、社會事業團體、諸新聞社、會社、工場商店等用

型錄呈上

最も……小さくて輕くて、

最も……堅牢で、節約で、

最も……鮮明で、安全な

映寫機は此のディヴライで御座います

東京市京橋區銀座三丁目十四番地（電銀座七〇八〇）

株式會社 岡本洋行

大阪市北區宗是町一〇 會

福岡市春吉前新屋二四〇ノ一

横濱市神奈川青木町 横濱シネマ商會

名古屋市中區裏門前町三 ワシノ商店

岡山市東田町一〇 太田洋行

廣島市中島新町一一 大和商事株式會社

札幌市南四條西三丁目 堀內商會

釧路市幸町二 荻野商店

京城本町二丁目 大澤商會京城支店

大連市西通一七 島商店

E型V.980. 特E型V.980.

地方代理店

登錄 金華朱肉朱之油朱墨

東京市日本橋區横山町壹丁目六番地 寶文堂 森島萬造

電話浪花六六〇番 振替東京九三六八番

カタログ進呈

中古洋服專門

東京日本橋區馬喰町四丁目 政川村洋服店

●合服夏服の御用意は弊店営業案内にて●

優秀品高等洋服は品質良く素敵に堅く新品同様良品が金バレバ安價で地レンコート 特殊ラシャ 特殊合羽物三ツ揃 立襟絹セル上下 折襟合羽物三ツ揃 立襟絹セル三ツ揃 折襟ツーピース三ツ揃

貳拾五圓 貳拾圓 貳拾圓 貳拾五圓 貳拾五圓 貳拾五圓 貳拾五圓 貳拾五圓

特別大賣出セル地 ボロ 四四 北 三圓 内

絹 綿 絹 綿 絹 綿 絹 綿

コール織 馬海 絹 綿 絹 綿

（營業案內送呈）

廣告新聞

東京橋本材木町三丁目十七番地 廣告代理業 廣集社

電話京橋九一八番 振替東京五〇七〇三番

登錄商標

ニカドト印複寫紙

製造元 東洋複寫紙合資會社

總代理店 芦田商店

全國到る處の和洋帳簿商文具店販賣せり

御用品諸官衙、各銀行、會社、商店

絕對的優秀品として斯界に冠絕せる本品の責任益々盛んなり

雜誌割引 特價

書籍

月報無代進呈

三水社

東京日本橋カキガラ町

株式會社 五十銀行

茨城縣眞壁郡下妻町大字下妻四百六拾四番地

株式會社 下妻銀行

公告

下名銀行ハ大正拾五年五月參日各其株主臨時總會ノ決議ニ基キ株式會社下妻銀行ハ株式會社五十銀行ヘ合併シ株式會社下妻銀行ノ株式貳株ニ對シ株式會社五十銀行ノ株式參株ノ割合ヲ以テ株式交付可致候ニ付株式會社下妻銀行ノ株主各位ハ來ル大正拾五年六月拾日迄ニ御所有ノ株券株式會社五十銀行ヘ御提供相成度若シ右期日迄ニ御提供無之トキハ株主タルノ權利ヲ喪失セラルヘク候商法ノ規定ニ依リ此段公告候也

大正拾五年五月四日

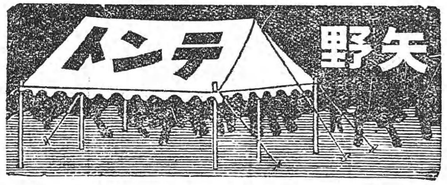
茨城縣新治郡土浦町九百貳番ノ六

株式會社 五十銀行

茨城縣眞壁郡下妻町大字下妻四百六拾四番地

株式會社 下妻銀行

第4107号



天幕雨覆帆布
防水布製造業
天幕裝飾貸物

大阪市西區日吉橋北
矢野テント商會
電話櫻川特三六四 長三六五
南堀江
第一工場 櫻川三一〇三
泉尾竹ノ町
第二工場 櫻川三〇四三
東京市京橋區船松町十四
東京支店
電話京橋（五六）五〇八

最も理想的な
書アサノ式製圖板
特許
定價 大（三尺八寸—二尺六寸）金拾貳圓 共ニ兩面
小（三尺—二尺）金八圓五拾錢 厚サ七分
特長 巾廣の一枚板にして、ピン、鉛筆の跡速に復舊します
特種な乾燥法を施してありますから狂ひ歪の憂はありません
多數の御注文は特に御相談致します
東京市神田鎌倉河岸（神田橋際）
合名會社 淺野木工場
電神田一六五三。四二三六

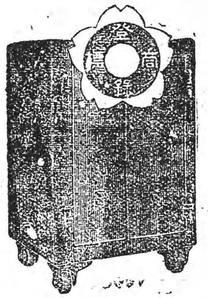
フレー糊
◎全國到る處文具雜貨店に有り
東京 フレー糊本舗
電話隅田四四九五

カバン專門
櫻書製作

淺田本郷町
鈴木カバン店

五拾有餘年の光輝ある歴史に富み關東大震火災に於て倍々名聲を發揮す規模、設備、作業、技術敢て他の追從を許さず、

佐倉金庫



資本金壹百萬圓
株式會社 佐倉金庫店

◎出張所 横濱市扇町二ノ四四

◎本店 東京市淺草橋區柳屋町二丁目 電話銀座京橋三三二番 振替口座東京二一四二番

◎支店 大阪市東區淡路町堺筋 電話船場二一〇六四番 振替大阪六〇三五〇番

◎工場 東京市深川區東森下町 横濱市青木町字鶴屋町 電話本局一八五四番

本誌定價 一箇月金貳十錢（送料ハ官廳賣拂價ニ含ム 不足ハ直接分五錢）一部金四錢但シ郵外金三錢（送料ハ官廳賣拂價ニ含ム 不足ハ直接分一錢）

廣告料 四號一行五圓 六號一行三十錢（四十五錢）（一段ノ廣告ハ六段組一行二五錢 八段組ニ應ジ六號活字ノ割合）

發行所 東京市麹町區大平町 内閣印刷局（電話牛込七〇七七番 振替口座東京一九〇〇〇）

官報 4107 号 本文

付録

雜報

145

小作調停概要

司法省民事局

大正十三年十二月一日小作調定法が實施されてから同十四年十一月末日までにおける一箇年間の調停の概要は左の通りである。

◆申立事件總數　申立事件の總數は、千六百件であつて、本法施行區域内にある裁判所のうち、東京・大津・廣井・函館の四地方裁判所を除いて、その他の地方裁判所管内においては總て事件の申立を受理した。殊に爭議の激甚である新潟・安濃津・岡山・高松・大阪・神戸・福岡・名古屋の各地方裁判所管内は申立件數が多い。

▼申立件數と百分比　千六百件のうち、地主・小作人の各申立件數ならびに百分比を示すと、

地主の申立にかゝるもの	九〇一	五六・三一
小作人の申立にかゝるもの	六六八	四一・六三
地主小作人同意の申立にかゝるもの	三三	二・〇六

となる。即ち地主の申立は小作人の申立よりその數において多いが、小作人の申立も相當の數に上つている。その上近時小作人がこの制度に使つて地主との間の爭議を解決しようとする傾向がある。また地方によつては小作人の申立件數が、地主の申立件數を凌駕する地方もある。例えば、新潟・甲府・長野・大阪・安濃津・岡山・松江の各管内である。

要するに地主も小作人も本制度によつて、爭議の解決をしようとする氣運が著るしい。

▼次ぎに、千六百件の關係人員は、地主四千三百七十八人、小作人一万六千六百五十九人であつて、關係耕地面積は七千五十町歩余に、わたる、しかして、各事件の關係人員ならびに關係耕地面積は事件によつて同じでない、地主、小作人各一人のものもあれば、數十人乃至百數十人のものもある。面積もまた三、四段歩に過ぎないものや三、四百町歩にわたるものもある。新潟地方裁判所新發田支部の受理した事件に、小作人百七十八人、地主二十九人關係面積四百町歩にわたるものが大なるもの、一例である。

◆地主・小作人の申立要旨　各申立の要旨は事件によつて必ずしも相同じではないが、各申立に通貫して普偏的なものは、小作料の支拂（地主申立の場合）小作料減減（小作人申立の場合）に關するものであつて、地主、小作人間の爭議の中核をするものは、常に農産收穫物の分配問題に歸着する。

もとより、地主より主張する土地返還、小作人より主張する永小作確認の如きは、何れも主張要求執拗にして、その事の深刻なものがあるが、これはつまり地主、小作人間における小作料減免問題の紛糾進展した結果に外ならない。ゆえにこの執拗な主張要求もこの分配問題であつて道理ある妥當な解決點を發見すれば自ら和き、兩者の協調がなるのを普通とする。

◆結果　總數千六百件のうち、終局を告げたものは千百六十三件、未終局のもの四百三十七件であつて、その内譯件數と百分比は、

調停成立したもの	九一七	七八・八三
調停不成立のもの	一三	一・一一
調定中もしくは調定開始前取下たもの	二二三	一九・二一
その他	一〇	〇・八五

取下げた二百二十三件のうち、地主、小作人間において協調ができないで、止むなく取下げた事件もあるが、その數はむしろ僅少であつて、事件の大多數は當事者間において示談成立したので取下げるにいたつたものである。

◆調停條項の内容　これも申立の多種であると同樣に一樣ではないが、爭議の中心をするものは小作料の減免問題であれば、したがつてその調停の内容もまた自らこの問題の解決に歸着する。

▼……小作料の一時的減額の場合は調停は制合に容易であつて、結局地主において既定小作料より何割かを減額するのを通例とする。その減額の割合は五分から二三割程度が普通である。

▼……小作料率の減率については前者の場合に比すれば協調はやゝ困難の場合はあれども、これも調停の結果、結局地主において既定小作料率を低下して落着する。その減率は三、四分より二、三割程度になるが、五分より一、二割を普通とするようである。

▼……土地返還の場合、永小作權確認の場合についても、多くは小作料減免問題の解決により、地主は土地返還の主張を拋棄し、小作人は永小作權確認を地主に強いず協調のなるのを普通とする。まれには、永小作權問題・土地返還問題にふれて調停のなつたのもある。

◆申立事件は調停によつて迅速に解決するのを常とする。裁判所は事件を原則としては、調停委員會の調停に付する調停委員會は多くは爭議地に出張してこの調停に努力するから、調停成立した九百十七件につき、事件を受理した日より調定成立するまでの日數を調査すると、一箇月内外をもつて解決するものが最も多い。

◆調停の爭議におよぼす影響　これを考えると、或町村内において或る小作人もしくは地主が調停の申立をすると、他の地主、小作人等は何れもこのなりゆきに注意して、その調定の結果如何について、深甚の注意を拂つている、しかして、この事件が妥當に調停が成立すると、他の地主、小作人またこの調停條項に準據して當事者間において示談成立することは、注意に値する。

◆……小作調停委員は、大正十四年十一月末日現在合計一万三千八十三人であつて、地方裁判所長が、その選任をするのには、地方小作官より候補者の報告を受けた外、なお地方官公署その他に照會して、廣く人物を求めそのうちより適任者を委員に選任する。調停委員中には、調停をする場合にあたつて、私事を捨て、眞に寢食を忘れて盡力し爭議の解決に努力しているものがある。

新に制定された郵便年金制度の要領

簡易保險局

郵便年金法は、過る帝國議會を通過して、既に公布され、近く實施しようとして目下準備中であるが、郵便年金とはそも如何なるものであるか、わが國には未だ一般に行われていない事業であるから、こゝにその制度の要領を説明しよう。

郵便年金とゆうのは保險の一種で、いわゆる年金保險に該當する事業である。わが國一般に行われている死亡保險においては、被保險者が死亡した場合、または一定の期間を經過したる場合に、保險金を一時に支拂うものであるが、郵便年金においては加入者所定の年齢以後、年金受取人の生存中に（毎年一定の金額を支拂うものである。即ち、死亡保險は主として死後のための保險養老保險は老後のための用をもなせども、その主要なる效用はなお何時襲來するやも圖られざる死亡に備うるところに存する）であるが、年金は專ら老後のための保險制度である。その機能は恰も官吏の恩給に類似している、たゞ恩給は永年勤續した代償として官吏に與うる年金であるが、郵便年金は、永年勤續の代りに一定の掛金を拂込めば、何人でも年金が得られるのである。ゆえに最も通俗に言い表せば、郵便年金とは、何人も利用し得る恩給保險制度である。

郵便年金の必要　國民の老後における生活を安定するためには、貯蓄制度や生命保險の如きもある、しかしこれ等の制度においては、受取人の受領すべき金額が一定しているから、何時まで生存するか不明な不確定の期間の必要に應ずることができない。「年金なければ長生は一の脅威である」とはこれがためである。また受取るべき金額は何時でも勝手に處分ができるから、人情の常として動もすれば浪費に陷り、永年の生活費に充つること能わざるに至るものである。

しかるに年金においては、受取人が何時まで長生しても生涯一定の金額を受領することができ、また毎年受領する金額も制限されているか

し、彼老後の生活を維持するのには、最適當の制度である。

由来わが國には家族制度迷信をも以て、老後の生活には適當なしとせらるるけれども、經濟組織の變化、國民思想の變遷等時代の進移に伴いて、今後は各人が獨立してその生活を安固にすること、一層必要である。したがって、國家の生活を維持するまでの要のない者に取りても、老後相當なる收入の途を有することは、極めて適當なる方法であるべし。しかして各人が皆この心意を体得することが、わが國の美風である家族制度を時代に順應せしむる所以ともなるのである。

疾病に世帯主を失した遺族がこの窮迫によって自己の生活を維持しまたは子女を養育しようとする場合の如きはその事情を等閑に付せず、一定の收入を確保し得る方面に指導することが、非常必要であるこの目的に適うためには、年金制度が最適當である。

また年金恩給や會社・工場等に年金賞与等を與へ人々に對して、その老後の生活を保障することは、定年に對する自覚の喚起を行われることは、極めて適當しいことであるが、この向き國各の利用に供するためにも、わが國に年金制度を確立し國家のためにも極めて緊要なことである。

本制度は各の里山・郡使年金制度の例に倣つて、強要をすることは、なお適當でないが、これを法律として制度しようとする事由を進ぶ。

その一は本邦産業が社會改造的発展を有する時代であること、既に世界的趨勢として、既に世界的趨勢として、既に世界的趨勢として

はもちろん遠く朝鮮支那ヨーロッパにまでも輸出する盛況にある。

鑛業　鑛業は石炭・砂金・硫黄・滿俺・金・銀・銅・鐵・石油等あるが、その内最も盛なるは石炭である。その埋藏量は四十億噸と稱せられ、全國埋藏量の半を占めている。炭質の良好なることは世間既に定評あり、九州炭田の漸く衰退の徴あるに際して、發達顯著なものあるは喜ばしことである。

水産　北海道の沿海はいわゆる世界三大漁場の一で、寒流と暖流とが或は併流し、或は交流しているので、魚族や海藻の種類は色々ある。最も主要なるは鰊で次は鱈・鮭・鱒・柔魚・昆布等である。近時沖合漁業の發達により鯛・鮪・鰹等從來あまりとれなかつた種類のものがとれるようになつて來た。一箇年間の生産額一億万圓に上り、漁具漁船の改良漁港の修築等相俟つて年々愈々産額を增加しつゝある。

工業　北海道は石炭の産出多く、大小の河川何れも水力電氣を起すに適して、動力の供給自在なると農産・林産・水産その他各種製造工業の原料豐富であるから、諸種の工業の勃興するのは自然の勢であつて、ビールその他醸造・亞麻工業・製紙・製糖・製鋼・製粉・製材・鑛業等の工業が盛で、一箇年の生産額一億五千六百万圓を算し、年々非常なる勢で發達をしている。

土地の處分　北海道における國有未開地處分の方法は、開拓使以來幾變遷を經て現在の方法になつたのであるが、自作農家のためには、特定地の制を設けて無償にて貸付し開墾成功の後無償で付與し資本家には大地積の土地を賣拂つて、事業を經營させる方針をとつている。今その大要を述べれば左の通りである。

特定地　特定地の貸付を受け得る資格は、戸主又は成年者で(イ)耕作の目的を以て新たに移住し、その證明書類（市町村長の移住證明書北海道移住者汽車汽船賃割引券）を携帶する者、(ロ)耕作の目的を以て移住し、未だ所有地貸付地若くは小作地を得ざる者、(ハ)農事に關する中等以上の教育を受け、一部落の農事を指導し得る者かに限らるゝのである。許可を受けた時は、六箇月以内にその土地若くはその附近に現實に移住して、事業に著手しなければならない。しかして成功付與を受くるまで引續き居住することを必要とする。特定地の貸付面積は一世帶に對し普通五町歩であるが、家族の多寡・土地の形質等によつては十町歩まで貸付することが出來る。なおその貸付地を成功して付與を受けた後には、更に他の新たなる土地の賣拂貸付を受くることも出來るから、漸次その事業を擴張したり、家族を分家さしたりするには好都合である。

特定地の處分は支廳長においてするのであるが、支廳では豫め管内の特定地の狀況を取調べて置き、願人が支廳に出願すれば土地の狀況を說明し、出願用紙を交付し本人無筆等の場合には係員に於て代書をなし、身元の取調をして眞面目な農業者で開墾成功の見込確實な者であれば、直ちに許可を與うることになつている。

賣拂地　大地積賣拂の制度は、一面には徒手奇利を博せんとする者を排斥して、他面直ちに土地の所有權を移轉して、起業家に土地を經濟的に利用する途を得させるのを主眼としている。その事業については、相當の期間を定めこの成功を期さなければならない。若し期間内にその實績を擧げない時は、やむを得ずその土地は返還しなければならない。しかしその起業方法等は、別段窮屈な條件を附するのではなく、自ら移住經營すると、または小作者を容れ管理者を置いて經營させるとも全く起業者の隨意である。

移民の收容力　北海道は元アイヌ人種の居住地で、初めて内地人の移住したのは餘程古い時代のようであるが、開道當時即ち、明治二年における人口は約五万八千人、明治十一年には二十万人、明治二十一年には三十五万人、三十一年には八十五万人、四十一年には百四十五万人、大正七年には二百二十万人、大正十三年には二百四十三万餘人に增加している。即ち五十六年間に四十二倍、最近十箇年間に二割七分增加している。

北海道の人口は自然增加の外、移住者來住とゆう特殊の原因による增加があつて、府縣とは大にその趣を異にするものである。一方里三百九十六人の割合で、府縣の一方里二千九百六十二人に比すれば、七十五分の十弱に過ぎない。將來いくらの人口を收容することができるかを斷定することは困難であるが、五、六百万人を收容できることは疑のないところである。

本道の總面積六千百五十五方里四國・九州・臺灣を合せたものよりも、なお三十三方里廣く、山嶽丘陵起伏するものの傾斜は概ねゆるやかであつて、その開石狩川・天鹽川・十勝川・釧路川等の大川が縱横に流れて、廣大な平原は、水田適地三十万町歩・畑適地百十五万町歩・牧場適地百十万町歩を包有すると稱せられる。現在開墾されたのは八十餘万町歩でなお六十餘万町歩は未開のまゝ有爲な人士の來て開拓されることを待つている。

農家一戸の耕作面積を水田三町歩、畑地は五町歩とする時は、水田に十万戸、畑地に二十三万戸の農家を收容し得る計算になる。なお將來相當工費を投じて、灌漑の施設をするときは、本道の水田は約四十万町歩に達せしめることができ、また畑および牧場適地の生産力を增進させる時は、畑地の耕作面積を縮少することができるから、畑地百五万町歩に對し四町歩につき一戸の農家を收容するものとすれば、水田に十三万三千三百戸、畑地に二十六万二千五百戸、計三十九万五千八百戸の農家を收容のできる計算となる。

總人口二百四十三万千八十二人の内農業人口は十六万八千九百九戸九十万六千八百三十六人で、總人口の四〇％に當り、また農家一戸の人口は五人七分に當るから、農業人口を基礎として將來の人口を推定すれば、五百六十四万百五十人となる、したがつてなお三百餘万人を收容のできる餘地がある理合である。わが國の人口は毎年七十万人も增加しつゝあるので、この增加人口をどうしようかは、朝野識者間に研究論議せらるるところであるが、内國内未發の資源を開發し、外過剩人口の移住を奬勵して、その緩和解決を圖るより良法はないようであるが、北海道はたしかに差向きの移住地として最も適當の地である。

前週の官報に

◎農林省官制中および農林部内臨時職員設置制中改正（勅令）　四、二六

◎文部省・商工省・工業試驗所・臨時窒素研究所および南洋廳小學校各官制中改正（同）　二七

◎本年三月の十三都市負債概況（彙報）　二七

◎故大勳位李王國葬の件（勅令）　號外二七

◎三月中の官報目錄　附錄一八

◎宮内官制服令中および判任待遇宮内職員制服規程中改正（皇室令・宮内省令）　二九

◎防疫職員官制中および帝國領事館附防疫官手當給與令中改正（勅令）　二九

◎本年三月の十三都市卸賣物價概況（彙報）　二九

◎故大勳位李王葬儀委員長・葬儀委員および葬儀東京事務所設置（辭令等）　號外三〇

◎内務省官制中および内務部内臨時職員設置制中改正（勅令）　五、一

寄贈圖書雜誌

▽海外時報・國際事情・海外商報・外務省報（外務省）▽世務通報・外國貿易月報（大藏省）▽内務時報（内務省）▽勞働時報（社會局）▽專賣協會誌（其會）▽財務協會誌（其會）▽山林彙報（山林局）▽特許公報・實用新案公報・特別發明明細書（特許局）▽燃料協會誌（其會）▽自警（警視廳内其會）▽外國鐵道彙報（鐵道省）▽經濟資料・外國雜誌主要記事索引・調査及資料彙報（滿鐵）▽國際知識・世界と我等（國際協會）▽世界の勞働（國際勞働局）▽婦女新聞（其社）▽法律經濟新報（清水書店）▽酒醬油世界（其社）▽京城日報（其社）▽理化學研究所彙報（理化學研究所）▽斯民（中央報德會）▽大日本農報（其社）▽啓明會事業報告（其會）

第4107号　大正15年